

例えばこんな巡り方

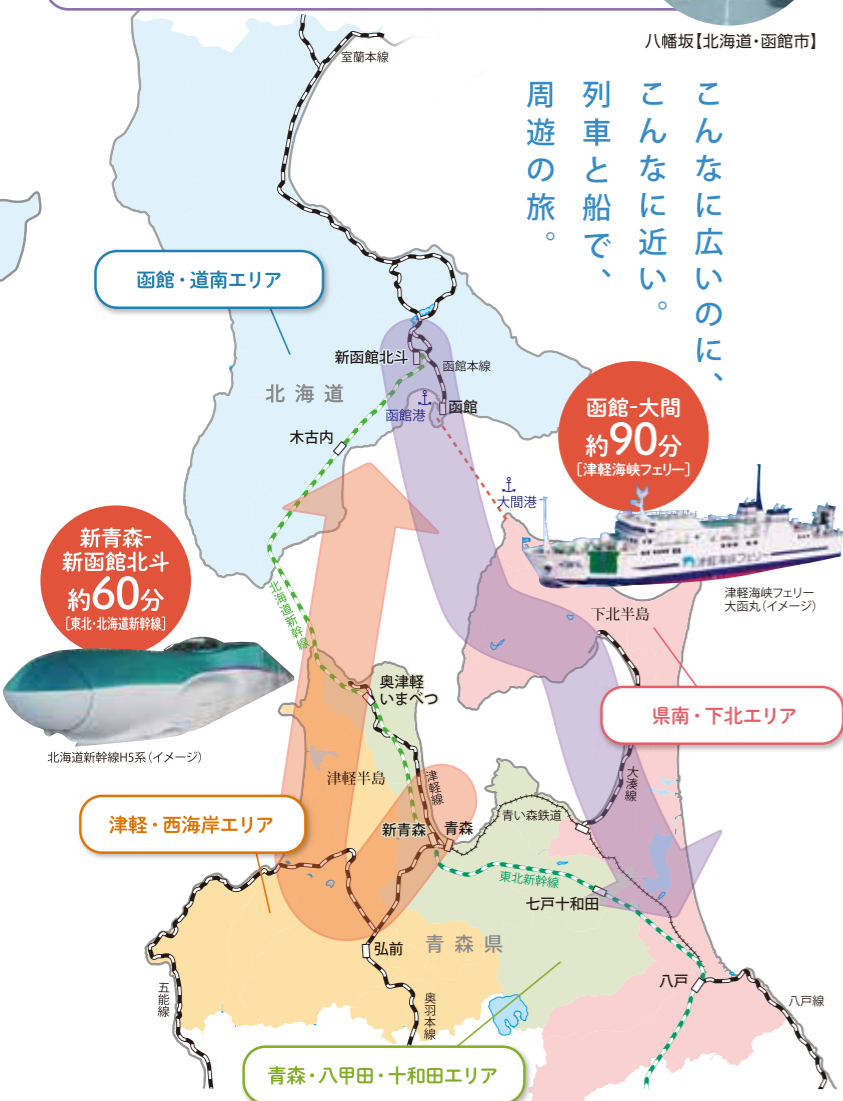
【道南⇒下北⇒県南】列車&津軽海峡フェリー利用

- 1日目 新幹線で新函館北斗駅へ⇒函館・道南エリア観光⇒函館港から津軽海峡フェリーで大間港へ
- 2日目 下北エリア観光(周遊バス・レンタカー・観光船など利用)
- 3日目 列車で大間港へ⇒県南エリア観光⇒八戸駅から帰路へ



八幡坂【北海道・函館市】

こんなに広いのに、こんなに近い。列車と船で、周遊の旅。



例えばこんな巡り方

【青森⇒津軽・西海岸⇒函館・道南】列車利用

- 1日目 新幹線で新青森駅へ⇒青森エリア観光
- 2日目 列車で弘前駅方面へ⇒津軽・西海岸エリア観光
- 3日目 新幹線で新函館北斗駅へ⇒函館・道南エリア観光⇒新函館北斗駅から帰路へ



弘前公園(弘前城)【青森県・弘前市】

本誌の番号を使って周遊ルートを手軽につくれます



画面はイメージです。

CONTENTS

- 特集1 03 --- 北海道・北東北の縄文遺跡群
- 特集2 05 --- 大いなる祭
- 09 --- 十和田湖・奥入瀬溪流
- 10 --- 白神山地
- 11 --- 種差海岸・大沼公園
- 12 --- 八甲田
- 13 --- 津軽海峡と海流が育む 海の恵み
- エリアガイド 15 --- 〈青森県〉青森・八甲田・十和田エリア
- 21 --- 〈青森県〉津軽・西海岸エリア
- 29 --- 〈青森県〉県南・下北エリア
- 37 --- 〈北海道〉函館・道南エリア
- 特集3 43 --- 温泉めぐり
- 47 --- イベントカレンダー
- 50 --- 観光キャンペーン特別企画 マグ女のセイカン♡博
- 51 --- 観光・交通・お問い合わせ
- 53 --- JR情報・青森県内のホテルご案内
- 54 --- 青森県・道南エリアマップ

いにしえから始まる 歴史文化・浪漫を巡る

水深130メートルにも及ぶ津軽海峡。その地形と海流によって、北海道と青森は航行を隔たれてきた。しかし、人々は互いに交流を求め、荒海へと漕ぎ出し、海峡を渡った。そうして、現在へと続く文化と交流の歴史が紡がれたのだ。縄文土器や土偶、洋館建築や街並み、北前船が運んだ食文化…。それぞれの繁栄した時代を物語っている。いまでは、新幹線やフェリーでさらに強く結ばれている、青森と道南。画期的な交流により、新たな文化が生まれ、歴史をつくり続けている。訪ねるたびに、新しい、めぐるたびに、美しい、ひと旅 ふた旅、めぐる旅。



青森県・大間町から望む北海道・函館市

※当ガイドブックに掲載されている情報は2019年6月～11月のものです。(2019年4月1日現在)商品内容、料金ほか各種データが変更となったり、時期による変動や臨時休業などで利用できない場合がございます。予めご利用の際にご確認ください。※掲載写真はすべてイメージです。実物と異なる場合があります。※天候・気象条件等により記事・写真のような景色が見られない場合があります。※料理等は内容が変わる可能性もございます。※掲載の各観光施設・店舗等の休業日・営業時間及びイベントの開催日時等は変更になる場合がございます。予め出発前にご確認ください。※実際の営業終了時間とは別に、最終入館時刻・ラストオーダーの時刻が定められている場合もございます。※掲載の電話番号は、各施設の問い合わせ用のため、現地の番号と異なる場合があります。カーナビ等での位置検索で実際とは異なる場所を示す場合があります。※掲載の表示金額はすべて税込です。(消費税率は2019年4月1日現在のものです。10月以降の金額は、掲載施設へご確認ください。)※ガイドブックに掲載された内容により生じたトラブルや損害等については、補償いたしかねますので、予めご了承願います。

マークについて

※「当ガイドブック」とは、青森県・函館観光キャンペーンガイドブックの冊子のことを指します。※各施設、イベント等の定休日や開催日、営業時間、内容の詳細などについては、それぞれの連絡先に直接お問い合わせください。※キャンペーン期間中でも都合により中止となる場合があります。

観光キャンペーン期間限定のおすすめ企画

P3～46の各ページの他、P50に掲載。このマークが目印です。

道南

北海道道南エリアの観光情報に記載しています。

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 = 函館

キャッチフレーズ

青森県と北海道道南地域は、深い交流があり、様々な文化・観光資源があります。2つのエリアを周遊する旅のメリットを「1つの旅(ひと度)で2つの旅=ひと旅ふた旅」と表現し、1つの旅で2つのエリアを巡ることにより、深みのある旅の思い出を作ってほしいという願いを込めたキャッチフレーズとしました。

青森県・函館観光キャンペーンとは・・・

2019年7月から9月まで青森県・北海道道南地域とJR東日本、JR北海道が一体となり、青森県・北海道道南地域をより一層魅力的な観光地に育てていくため様々な取組を行い、その魅力を首都圏をはじめ、各地にPRする大型観光キャンペーンです。

津軽海峡圏縄文文化

津軽海峡がつなぐ

一万年の物語



精微な文様美

高度な漆塗り

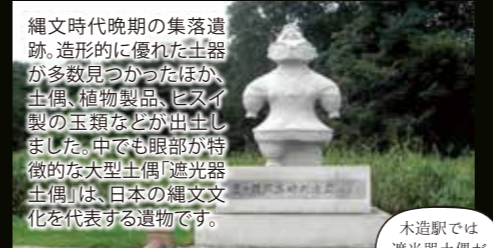
一万年以上続いた豊かで安定した縄文時代。この、希有な時代の文化遺産を人類の宝として未来へ伝えるため、日本列島の北の地では、世界文化遺産登録を目指している。この地特有の太古の文化から現代へ。津軽海峡でつながる物語が、新しい魅力発見と学びの旅へとわれわれを誘う。

約15,000年前	約11,000年前	約7,000年前	約5,000年前	約4,000年前	約3,000年前	約2,300年前
旧石器時代	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期
大平山元遺跡	北黄金貝塚	垣ノ島遺跡	大船遺跡	三内丸山遺跡	二ツ森貝塚・田小原野貝塚	入江・高砂貝塚・是川石器時代遺跡
				御所野遺跡	キウス周堤墓群 小牧野遺跡 大湯環状列石 伊勢堂岱遺跡	大森勝山遺跡・ 亀ヶ岡石器時代遺跡

縄文時代の時代区分

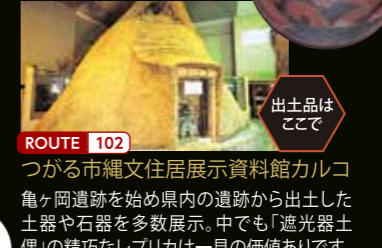
一万年以上も続いた縄文時代。人々は戦いを行わず自然と共生しながら平和に暮らしていたと考えられている。木の実や魚などの地の恵みを食べ、自然に祈りを捧げ、豊かな文化を育んだ縄文の人々は、私たち現代人に大切な何かを教えてくれる。人々は津軽海峡の荒海を舟で越え、この一帯に同一の文化圏を築いた。北海道・北東北の縄文遺跡群は、当時この圏内に築かれていた高度な技術や豊かな精神文化で訪れる人を魅了する。出土した多くの副葬品、独特の造形美で人気の高い漆塗り製品や土偶の数々、貝塚や盛土遺構から見る自然や生命への畏敬の念など注目すべき点が多い。

「亀ヶ岡文化」の名の由来になった縄文時代晩期の遺跡 ROUTE 101
史跡 亀ヶ岡石器時代遺跡 [青森県・つがる市]



縄文時代晩期の集落遺跡。造形的に優れた土器が多数見つかったほか、土偶、植物製品、ヒスイ製の玉類などが出土しました。中でも眼帯が特徴的な大型土偶「遮光器土偶」は、日本の縄文文化を代表する遺物です。

遮光器土偶
明治20年(1887年)に出土。中は空洞で高さ34.2cm。目が北方民族の使用した雪メガネ、「遮光器」に似ていることから名づけられました。原品は東京国立博物館所蔵。



つがる市縄文住居展示資料館カルク
亀ヶ岡遺跡を始め県内の遺跡から出土した土器や石器を多数展示。中でも「遮光器土偶」の精巧なレプリカは一見の価値があります。

■時間/9:00~16:00
■料金/大人200円、高・大学生100円
■休/月曜日、祝日の翌日
■問/☎0173-42-6490
■交通/JR五能線木造駅より徒歩約15分

当ガイドブックご提示で、入館料半額。

縄文文化を代表する集落遺跡 ROUTE 103
特別史跡三内丸山遺跡 [青森県・青森市]



縄文時代前期から中期の大規模な集落遺跡。復元された縄文のムラには、数多くの竪穴建物、大型掘立柱建物などがあり、縄文の風景を体験することができます。

夏季特別展「あもり土偶展」
縄文時代を代表する土偶のうち、著名な亀ヶ岡石器時代遺跡から出土した遮光器土偶をはじめ、北海道及び東北地方の優品を展示します。

■期間/7月20日~9月1日
■料金/大人1,000円、高・大学生500円(遺跡・常設展示観覧料は無料)、中学生以下無料



縄文時遊館 ROUTE 104
さんまるミュージアムでは重要文化財約500点を含む総数約1,700点の出土品を展示。新たに約500個の土器が並ぶ一般収蔵庫や、国宝や重要文化財も展示できる企画展示室が加わりました。

■時間/9:00~18:00(6月~9月)、9:00~17:00(10月~5月)
※4月27日~5月6日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)
■料金/大人410円、高・大学生200円、中学生以下無料(特別展は別料金)
■休/毎月第4日曜日(祝日の場合翌日)、12月30日~1月1日
※その他保守点検のための休館あり
■問/三内丸山遺跡センター ☎017-766-8282
■交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約15分



縄文ビッグウォール
高さ6メートル、幅18メートルの壁に、出土した縄文土器のかけら5120個が!

縄文時遊館での楽しみ方 pick up
縄文服を着用して記念写真撮影や本物の土器に触れられる。
ITガイドを使いながらムラの様子や出土品をVR体験。

漆工芸や土偶作りの技術の高さがうかがえる ROUTE 105
是川石器時代遺跡 [青森県・八戸市]



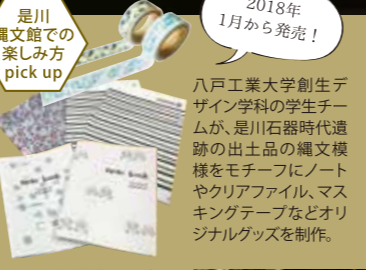
3つの遺跡からなる是川石器時代遺跡。中でも縄文時代晩期の中居遺跡は、居住域、墓域、水辺の作業場、捨て場、祭祀場など多様な遺構が残り、漆塗り製品も多数出土しています。

国宝合掌土偶
手を合わせて指を組むようなポーズが特徴の「合掌土偶」。完全な形で出土した土偶として大変貴重で、国宝に指定されています。(風張1遺跡)



八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
「是川石器時代遺跡」や「風張1遺跡」などの出土品を展示しています。国宝「合掌土偶」をはじめ、縄文時代の漆器など貴重な出土品を鑑賞できます。

■時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
■料金/大人250円、高・大学生150円、小・中学生50円
■休/月曜日(第1月曜日、祝日・振替休日を除く)、祝日・振替休日の翌日(土・日・祝日を除く)
■問/☎0178-38-9511
■交通/JR八戸線八戸駅よりバス約20分



是川縄文館の見どころの1つが「漆の美」。中居遺跡出土の木胎漆器、藍胎漆器、漆塗り土器などを展示。色の鮮やかさに注目。
縄文カレー
トッピングが木の実に、ご飯は雑穀入りの「縄文米」。



国内最大級の盛土遺構を有し、足形付土版などが出土した拠点集落跡
史跡 垣ノ島遺跡 [北海道・函館市]

縄文早期から後期まで長期の定住を示す拠点集落跡。副葬品とみられる足形付土版、青竜刀形石器、漆塗り注口土器や香炉形土器などが多数出土しています。また、盛土遺構は長さ190m以上で国内最大級。隣の垣ノ島B遺跡からは世界最古の漆製品が出土。

国宝中空土偶
ジャガイモ畑で偶然発見された土偶で、国内最大級。北海道唯一の国宝です。当時の精神性を知る手がかりにもなっています。



大型の竪穴住居が特徴的な大規模集落遺跡
史跡 大船遺跡 [北海道・函館市]

縄文前期末から中期末の大規模な集落遺跡。100棟を超える竪穴建物跡からなる居住域、盛土遺構、墓や貯蔵穴を含む100基以上の土坑墓群が確認され、大型の竪穴建物跡、クジラやオットセイの骨なども出土しています。

函館市縄文文化交流センター 道南
国宝「中空土偶」など函館市内の遺跡の出土品を数多く展示。ミニチュア土器づくりなど歴史にふれる体験ができます。道の駅「縄文ロマン南かやべ」が併設し、休憩もでき、歴史を学べます。

■時間/9:00~17:00(11月~3月は16:30まで) ■料金/大人300円、小・中・高・大学生150円
■休/月曜日(祝日の場合翌日)、毎月最終金曜日 ■問/☎0138-25-2030
■交通/JR函館本線函館駅より車約1時間またはバス約1時間15分、「白尻小学校前」下車後徒歩約15分



交流センターでの楽しみ方 pick up
国宝「中空土偶」や南茅部地域出土の遺物をモチーフにした縄文文化交流センター限定のオリジナルグッズをゲットしよう!

国内唯一!太平洋を望める地で縄文の国宝に出会える「道の駅」
「縄文編み」ミニチュア土器づくりなど、気軽に縄文体験を!

大いなる

祭

北国の短い夏に、人々は魂を熱く燃やし、祭りに臨む。この地では、北前船の運航により受け継がれ、それぞれの地域の文化へと分化した山車のまつり、国の重要無形民俗文化財のねぶた・ねぶたなど、世界に誇る大いなる祭があふれている。



〔青森県・五所川原市〕

五所川原立佞武多

大正以降、姿を消した立佞武多が平成になって復元されました。高さ約23m、重さ約19トンにもおよぶ大型立佞武多3台は7階建てビルに匹敵する高さ。他にも町内会や学校・愛好会のねぶたと合わせて15台ほどが出陣。「ヤツメレ」と威勢のいい掛け声とともに市内を練り歩き、その圧倒的迫力で観客を魅了します。

■場所／五所川原市中心街
■期間／8月4日～8日
■時間／19:00～21:00
■問／五所川原市観光協会 ☎0173-38-1515
■交通／JR五能線五所川原駅より徒歩約5分
※有料観覧席あり(3,000円～)
五所川原商工会議所 ☎0173-35-2121
まちなか五所川原 ☎0173-33-6338

闇を染めぬる
23メートルの勇姿

意外なオープニング いざ、出陣！

祭り当日の午後6時頃、立佞武多の館の壁一面を覆うガラスの大扉がゆっくり開いて「立佞武多」が登場。建物から出る様は、まるで巨大ロボット。まもなくして威勢のよい囃子と「ヤツメレ」のかけ声とともに「立佞武多」は街を練り歩く。ビルや街を見下ろすような眼力と大きさに観客たちは息を飲む。

立佞武多の館
[青森県・五所川原市] ROUTE 202

迫力満点の立佞武多を常時展示。周りがらせん状のスロープになっているので、上から下までじっくり見学できます。

■時間／9:00～19:00(4月～9月)、9:00～17:00(10月～3月)
※五所川原立佞武多期間は変更の場合あり
※お囃子実演は毎週日曜日10:10～11:10～、13:10～、14:10～(約10～15分)(五所川原立佞武多期間は休み)

■料金／立佞武多展示室 大人600円、高校生450円、小・中学生250円
■休／1月1日(営業の場合有り。要問合せ)
■問／☎0173-38-3232
■交通／JR五能線五所川原駅より徒歩約5分

当ガイドブックご提示で、立佞武多しおりプレゼント。

**立佞武多の紙をお持ち帰り
紙はがし作業付き見学会**

勇退してバラバラになった立佞武多の紙を剥がすお手伝い！祭りの思い出に台紙付の紙をお持ち帰りできます。

■期間／7月22日～26日
■時間／14:00～15:00
※13:50まで受付
(1週間前まで要予約)
見学会約40分(ガイド付)、
作業(製作所にて)約20分

■料金／大人1,500円、高校生1,250円、小・中学生1,000円(各入館料含む)

■定員／2～10名

**「立佞武多」のためなら
無電柱化まで実現**

1996年に20mを超える「立佞武多」が復元されたことを機に五所川原で始まったのは、なんと電柱を地中に埋める工事。2013年には電線、電話線、信号機などの埋設・移設が完成した。巨大立佞武多の運行のために大工事もとわれない五所川原の人々の祭り熱。巨大立佞武多は、こうして無事に運行されるようになり、台数を増やしていった。

もっと知りたい！

「巨大ねぶた」復活まで
「五所川原立佞武多」は、津軽地方を中心に青森県内で開かれる夏祭り「ねぶた」の1つ。その「ねぶた」の歴史は400年以上前にさかのぼるとされている。

五所川原の「ねぶた」は明治時代、豪商や大地主が力の象徴として高さを競ったことから巨大化した。明治40年頃の記録では、当時の高さは約18～21.6m。電気が普及した大正時代は、電線の影響で小型化したものが増えた。さらに戦後は2度の大火で街が全焼し、設計図や写真を消失。高さを誇った「たちねぶた」は姿を消した。

しかし平成に入って明治時代の写真や台座の設計図が発見されて復元が試みられた。1996年には市内の有志が高さ20mを超える「ねぶた」を制作。「立佞武多」と命名した。1998年には約90年ぶりに街の中で巨大ねぶた(立佞武多)が運行された。



1996年復元の立佞武多「武者」 明治時代の立佞武多「武者」



フランス・パリでの祭典の様子

〔青森県・むつ市〕

たなぶ

田名部まつり

ROUTE 207

かつて北前船の水運で栄えた田名部に約380年伝わるといわれる歴史ある祭り。山車の形態やお囃子に北前船にゆかりの深い、近江商人から祇園の影響を受けており、「北のみやび」と称されています。

- 場所 / むつ市田名部地区(田名部神社周辺)
- 期間 / 8月18日～20日
- 時間 / 日によって異なる
- 問 / 下北観光案内所 ☎0175-34-9095
- 交通 / JR大湊線下北駅より車約10分



〔北海道・函館市〕

函館港まつり

道南

昭和10年(1935年)から始まった函館最大のイベント。函館の夜空一面を染める花火大会から始まり、約2万人の市民が「函館港おどり」「函館いか踊り」を踊りながら街を練り歩くパレードなど、市内一円が多様なイベントで盛り上がり。ロープウェイで函館山の頂上へ向かい、日本有数の夜景と花火のコラボレーションを楽しむのが通!

- 場所 / 函館市内(日によって異なる)
- 期間 / 8月1日～5日
- 時間 / 会場により異なる
- 問 / 函館港まつり実行委員会 (函館国際観光コンベンション協会内) ☎0138-27-3535
- 交通 / (最寄駅) JR函館本線函館駅 徒歩約10分



約1ヶ月間ねぶたをじっくり鑑賞できる!

ねぶたラッセランド

〔青森県・青森市〕

ROUTE 204

青森ねぶた祭に出陣する大型ねぶたの制作小屋が見学できます。7月1日～8月6日はねぶたガイドが常駐し、ねぶたの歴史や制作過程を無料で解説します。

〔ねぶたガイド〕

- 場所 / 青い海公園(アスパム隣接)
- 期間 / 7月1日～8月6日
- 時間 / 7月1日～21日=10:00～15:00、7月22日～8月6日=10:00～15:30(最終受付30分前まで)
- 料金 / 無料 ※ガイド案内受付所に直接申込可
- 問 / ねぶたの家ワ・ラッセ ☎017-752-1311
- 交通 / JR奥羽本線青森駅より徒歩約10分

青森 ねぶた祭

〔国重要無形民俗文化財〕

青森県・青森市

東北三大まつり

八戸 三社大祭

〔国重要無形民俗文化財〕

〔青森県・八戸市〕

2016年ユネスコ無形文化遺産登録



ROUTE 205

東北屈指の山車まつり。8月1日の「お通り」、3日の「お選り」で見られる三神社の神社行列と27台の山車の合同運行は観客を圧倒します。

- 場所 / 八戸市中心街ほか
- 期間 / 7月31日～8月4日
- 時間 / 日によって異なる
- 問 / (一財) VISITはちのへ ☎0178-70-1110
- 交通 / JR八戸線本八戸駅より徒歩約10分 ※有料観覧席あり(2,500円)



ROUTE 210

平川ねぶたまつり〔青森県・平川市〕

ねぶた毎に囃子も踊りも異なる演出が粋。トリを飾るのは高さ約12mもの扇ねぶたです。

- 場所 / 平川市役所～弘南鉄道弘南線平賀駅前
- 期間 / 8月2日・3日(雨天時4日まで順延)
- 時間 / 18:30～22:00
- 問 / 平川市商工会 ☎0172-44-3055
- 交通 / 弘南鉄道弘南線平賀駅より徒歩約5分 ※有料観覧席あり(2,000円)



道南

江差・姥神大神宮渡御祭〔北海道・江差町〕

370余年前から行われている、北海道内最古の夏の祭。毎年8月9日～11日の3日間、豪華絢爛な13台の山車が、祇園囃子の調べに乗って昼夜町内を練り歩きます。本祭の終盤には新地町繁華街に山車が勢ぞろいし、祭り囃子を一齐共演します。町中と日本海を一望できる馬坂からの眺めは圧巻です。

- 場所 / 姥神大神宮・江差町内
- 期間 / 8月9日～11日
- 時間 / 日によって異なる
- 問 / 姥神大神宮祭典協賛実行委員会 (江差観光コンベンション協会内) ☎0139-52-4815
- 交通 / JR北海道新幹線木古内駅よりバス約1時間30分 ※8/10・11はJR北海道新幹線新函館北斗駅・JR函館本線函館駅より臨時バス運行 問 / 函館バス函館駅前案内所 ☎0138-22-8111 (当日は直接乗り場へお越しください。)



日本三大流し踊り

ROUTE 209

黒石よされ流し踊り〔青森県・黒石市〕

連日約2,000人の踊り手が沿道を踊り、円を描きながら乱舞する「廻り踊り」など、見どころ豊富。日本三大流し踊りのひとつに数えられています。

- 場所 / 黒石市役所周辺
- 期間 / 8月15日・16日
- 時間 / 19:00～21:00
- 問 / 黒石観光協会 ☎0172-52-3488
- 交通 / 弘南鉄道弘南線黒石駅より徒歩約10分



ROUTE 208

加賀美流騎馬打毬〔青森県・八戸市〕

宮内庁と山形市と八戸市の3ヶ所にしか残っていない貴重な行事「騎馬打毬」。紅白に分かれた騎手が、馬上から先に網の付いた毬杖を持ち、毬を門に投げ入れる伝統武芸です。

- 場所 / 長者山新羅神社・桜の馬場
- 期間 / 8月2日
- 時間 / 14:00～
- 問 / (一財) VISITはちのへ ☎0178-70-1110
- 交通 / JR八戸線本八戸駅より徒歩約20分



ROUTE 212

十和田市秋まつり〔青森県・十和田市〕

豪華絢爛な山車、勇壮な太鼓車が十和田市中心部を巡行。華麗なバチさばさが圧巻です。

- 場所 / 十和田市中心街
- 期間 / 9月6日～8日
- 時間 / 6日・8日=14:00～、7日=13:00～(予定)
- 問 / 十和田興入観光光機 ☎0176-24-3006
- 交通 / JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約40分

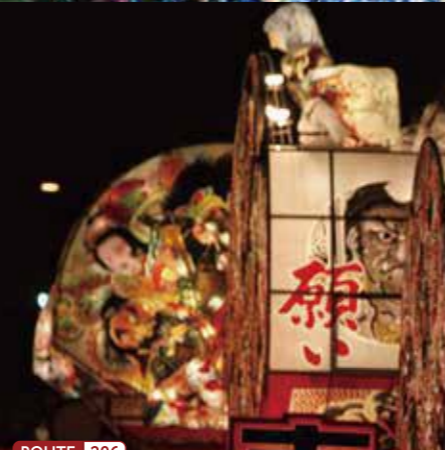


ROUTE 211

のへじ祇園まつり〔青森県・野辺地町〕

京都祇園祭の流れを汲むといわれ、山車は2階層が特徴。1階では優雅な祇園囃子の演奏が行われ、2階は毎年手作りの華麗絢爛な人形を飾ります。

- 場所 / 野辺地町内、野辺地町漁業協同組合荷さばき場
- 期間 / 8月22日～25日
- 時間 / 日によって異なる
- 問 / (一財) 野辺地町観光協会 ☎0175-64-9555
- 交通 / 青い森鉄道野辺地駅より徒歩すぐ ※ただし日程により会場が異なる



ROUTE 206

武者絵を題材にした大小約80台のねぶたが、勇壮華麗に弘前市内を練り歩きます。津軽の夏を彩る伝統行事として名高く、享保7年(1722年)の『御国日記』には弘前藩5代藩主・信寿公が高覧したとの記録も。最終日の夜には岩木川沿いの土手にてねぶたを炎で清め送る「なぬかびおくり」が行われます。

- 場所 / 弘前市内(日によって異なる)
- 期間 / 8月1日～7日
- 時間 / 8月1日～6日=19:00～、8月7日=10:00～
- 問 / 弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
- 交通 / JR奥羽本線弘前駅より徒歩約10～30分 ※有料観覧席あり(金額は未定のため要問合せ)

弘前 ねぶたまつり

〔国重要無形民俗文化財〕

〔青森県・弘前市〕

ROUTE 00 ※各スポットの番号を使って自由に周遊ルートを作成できます。詳しくはP.2をご覧ください。



白神の森 遊山道 [青森県・鯉ヶ沢町]
ROUTE 220
 白神山トレッキングの中でも道幅が広く、歩道も整備されています。専門のガイドと森林景観が体感できる人気のトレッキングスポーツです。
 ■期間 / 4月20日～10月31日
 ■時間 / 9:00～16:00(10月は15:00まで)
 ■料金 / 入山料1名500円(ガイド料別途)
 ■問 / 総合案内休憩所「くもり館」
 ☎0173-79-2009
 ■交通 / JR五能線鯉ヶ沢駅より車約30分

白神山地

白神山地 [青森県・西目屋村・鯉ヶ沢町・深浦町]
ROUTE 219
 ■期間 / 4月下旬～11月上旬
 ■問 / 西目屋村産業課 ☎0172-85-2800
 鯉ヶ沢町観光商工課 ☎0173-72-2111
 深浦町観光課 ☎0173-74-4412

平成5年(1993年)日本初の世界自然遺産に登録された白神山地。手付かずのブナの原生林が東アジア最大級の規模で広がる。多種多様な植物やツキノワグマやイヌワシ、クマガイといった希少な野生動物の揺りかごでもあり、「十二湖」「白神の森遊山道をはじめ、白神山地全体が天然のミュージアム」といっていいほどだ。淡い緑が芽吹く初夏から、清流きらめく夏の盛り、そして紅葉に染まる秋まで、時季それぞれの美しさに出会えるだろう。



西目屋村観光ガイド会 [青森県・西目屋村]
ROUTE 222
 専門ガイドがニーズに合わせてご案内します。トレッキングをしてみたいけれど一人では不安という方におすすめ。
 ■期間 / 通年(事前に要申込)
 ※期間外(11月中旬以降)はブナの里白神館 ☎0172-85-3011へお問い合わせください。
 ■案内範囲 / 白神山地内散策コース
 ■料金 / 有料(要問合せ)
 ■問 / アクアグリーンビレッジANMON ☎0172-85-3021

白神山地ビジターセンター [青森県・西目屋村]
ROUTE 222
 白神山地の自然や生態系が学べる資料館。「映像体験ホール」では巨大スクリーンの臨場感あふれる映像で白神の四季を紹介しています。
 ■期間 / 8:30～17:00(4月～10月)、9:00～16:30(11月～3月)
 ■料金 / 無料(映像体験ホールは大人200円、小人100円)
 ■休 / 第2月曜日(4月～12月)、第4月曜日(8月)、月・木曜日(1月～3月) ※祝日の場合翌日12月29日～1月3日
 ■問 / ☎0172-85-2810
 ■交通 / JR奥羽本線弘前駅よりバス約55分

アオーネ白神十二湖 [青森県・深浦町]
ROUTE 223
 十二湖の麓にある自然体験型リゾート宿泊施設。白神山トレッキングから十二湖観光まで幅広く活用できます。
 ■時間・料金 / 施設により異なる
 ■休 / 年中無休
 ■問 / ☎0173-77-3311
 ■交通 / JR五能線十二湖駅より車約5分

十二湖 [青森県・深浦町] **ROUTE 221**
 江戸時代の大地震により誕生した33の湖沼群の総称。十二湖を一望できる崩山から眺めると12の湖沼が見えたことから「十二湖」と命名されました。青いインクを流したような「青池」や、雄大な日本キャニオンなど、神秘的な景観が広がります。
 ■期間 / 4月～11月 ■問 / 深浦町観光課 ☎0173-74-4412
 ■交通 / JR五能線十二湖駅より車約15分

十二湖の森
 深浦町 白神十二湖 森林セラピー®基地
 平成25年3月、十二湖は青森県内で初めて「森林セラピー®基地」として認定されました。森林セラピー®基地とは、つぎの2つの条件を満たしているエリアです。①リラックス効果が森林医学の面から専門家により実証された森。②関連施設の自然・社会条件が一定の水準で整備されている地域。全国各地の森林セラピー®基地では、来訪者のための心身のリラックスや健康増進を目的とした様々なプログラムが用意されています。
 ■問 / 深浦町観光課 ☎0173-74-4412



総合案内休憩所「くもり館」 [青森県・鯉ヶ沢町]
ROUTE 218
 「白神の森 遊山道」散策の総合案内休憩所。入山の際はまずここで手続きを。展示室や休憩室、杖や長靴の無料貸し出しがあります。
 ■期間 / 4月20日～10月31日
 ■時間 / 9:00～16:00(10月は15:00まで)
 ■料金 / 入館無料 ※白神の森 遊山道入山料別途
 ■休 / 期間中無休 ■問 / ☎0173-79-2009
 ■交通 / JR五能線鯉ヶ沢駅より車約30分

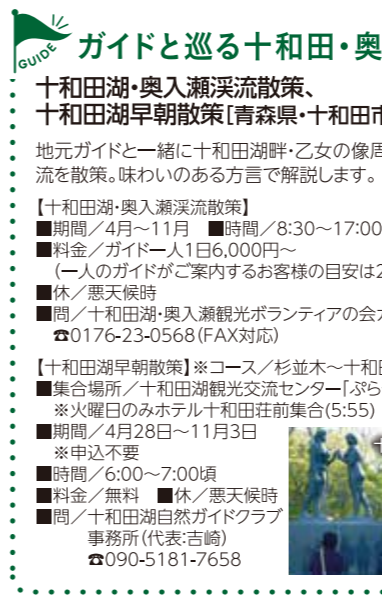
入山手続された方先着120名様に、ミネラルウォーター白神山地の水(500ml)を1本プレゼント。

十和田湖遊覧船 [青森県・十和田市]
ROUTE 214
 休屋周遊コースと子ノ口から休屋間運航コースがあります。新緑や紅葉で色づく山々、切り立った断崖など、四季折々に美しい十和田湖を湖上から堪能できます。
 ■期間 / 4月12日～11月11日
 ■時間 / 時期・コースにより異なる(所要時間約50分)
 ■料金 / 大人1,400円、小人700円
 ■問 / 十和田観光電鉄十和田湖遊覧船団体予約センター ☎0176-75-2909

十和田湖ランチクルーズ [青森県・十和田市]
 双胴船のクルーズ船から乙女の像を眺めたり、小さな入江に入ったりして楽しめます。穏やかな湖上でゆっくり特製ランチを召し上がられ。コースはランチのほかドリンク付です。
 ■期間 / 7月～10月(前日まで要予約)
 ■時間 / 11:00～、12:00～、13:00～
 ■料金 / 4,000円(約40分)、6,000円(約1時間)
 ■問 / 十和田湖マリンプレー ☎0176-75-3025

十和田湖観光交流センター「ぶらっと」で当日ドリンクと遊覧船の乗船券ご提示で、奥入瀬源流水(350ml)または奥入瀬珈琲(190g)1本プレゼント。*7・9月に1日先着20本

ガイドと巡る十和田・奥入瀬体験
十和田湖・奥入瀬渓流散策
十和田湖早朝散策 [青森県・十和田市]
 地元ガイドと一緒に十和田湖畔・乙女の像周辺や奥入瀬渓流を散策。味わいのある方で解説します。
 【十和田湖・奥入瀬渓流散策】
 ■期間 / 4月～11月 ■時間 / 8:30～17:00
 ■料金 / ガイダー1人1日6,000円～ (一人のガイドがご案内するお客様の目安は20名以内)
 ■休 / 悪天候時
 ■問 / 十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会ガイド手配係 ☎0176-23-0568 (FAX対応)
 【十和田湖早朝散策】※コース/杉並木～十和田神社
 ■集合場所 / 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」前
 ※火曜日のみホテル十和田荘前集合(5:55)
 ■期間 / 4月28日～11月3日
 ※申込不要
 ■時間 / 6:00～7:00頃
 ■料金 / 無料 ■休 / 悪天候時
 ■問 / 十和田湖自然ガイドクラブ 事務所(代表:吉崎) ☎090-5181-7658



十和田湖 [青森県・十和田市]
ROUTE 213
 世界的にも類のない美しい自然が守られている十和田湖は、環境省が指定する国立公園。湖岸のほとんどが断崖に囲まれ、周辺に原生林が生い茂り、鏡のように静かな湖面が深い青に輝きます。
 ■問 / 十和田湖観光交流センター「ぶらっと」 ☎0176-75-1531
 ■交通 / (休屋まで)
 ①JR東北新幹線新青森駅よりバス約3時間
 ②JR東北新幹線八戸駅よりバス約2時間15分

十和田湖



奥入瀬渓流 [青森県・十和田市]
ROUTE 215
 十和田湖の子ノ口から焼山までの約14kmには、千変万化の美しい流れや奇岩・奇跡が広がります。緑に包まれる渓流美は絵画のよう。
 ■問 / 奥入瀬渓流館 ☎0176-74-1233
 ■交通 / (焼山まで)
 ①JR東北新幹線八戸駅よりバス約1時間30分
 ②JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約1時間(シャトルバス)
 ③JR東北新幹線新青森駅よりバス約2時間

奥入瀬渓流

体験 Experience コケの森・奥入瀬の体験
 300種類以上のコケ植物が生息し、「日本の貴重なコケの森」に認定された奥入瀬で苔の美しさを体験

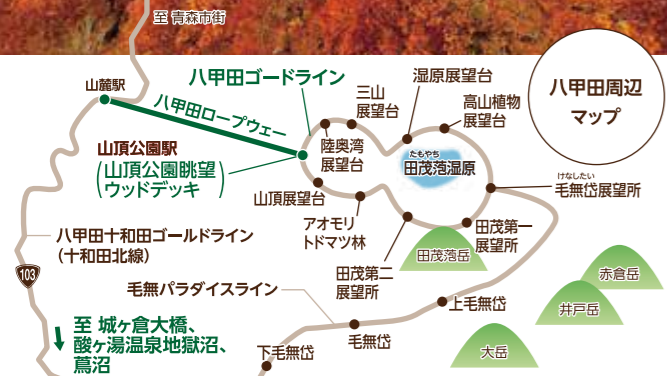
奥入瀬モスボール工房(こけ玉作り体験) [青森県・十和田市] **ROUTE 217**
 モスボール(こけ玉)の制作ができます。お子様も簡単に作れるので、ご家族で楽しめます。こけを丸めて「小さな奥入瀬」を表現しよう。
 ■場所 / 奥入瀬渓流館内 ■時間 / 9:00～16:30(作業時間30分程度)
 ■料金 / 1名様2,000円～(お好きな苗木を選べます)
 ■休 / 年中無休 ■問 / 奥入瀬渓流館 ☎0176-74-1233
 ■交通 / JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約1時間(シャトルバス)



苔さんぽ [青森県・十和田市] **ROUTE 216**
 雲井の滝から白銀の流れまでを歩く絶好の散策ルートは、神秘的な苔と出逢える場所。300種類以上の苔が生息する奥入瀬は天然の苔庭。ルーペ片手に案内人と一緒にミクロの世界探検へ。
 ■期間 / 5月1日～11月27日
 ■時間 / 9:00～11:50
 ■料金 / 小学生以上4,320円、未就学児 無料
 ■問 / 星野リゾート 奥入瀬渓流ホテル ☎0570-073-022(星野リゾート予約センター)
 ※定員:12名(前日20:00まで要予約) ※宿泊者限定
 ■交通 / JR東北新幹線八戸駅よりバス約1時間10分(無料送迎バス) ※宿泊者限定・要予約

ROUTE 00 ※各スポットの番号を使って自由に周遊ルートを作成できます。詳しくはP.2をご覧ください。 09

八甲田



八甲田ゴードライン 【青森県・青森市】 ROUTE 227

ひょうたん(ゴード)の形をした遊歩道が特徴的。多彩な高山植物や湿原の景色を楽しみながら、気軽に散策できます。

- 問/八甲田ロープウェイ ☎017-738-0343
- 交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約1時間、またはJR奥羽本線青森駅よりバス約1時間20分

八甲田ロープウェイ【青森県・青森市】 ROUTE 228

八甲田・田茂岳(たもやちだけ)山頂公園駅付近では満天の星空と青森市や津軽地方の夜景を鑑賞できます。9月下旬には山頂付近から紅葉も始まるので、紅葉と夕陽のセットもおすすです。

- 期間/通年 ※早朝ロープウェイは7月6日~28日の土・日・祝日(8:30~)、夕焼けロープウェイは8月10日~18日の毎日、星空・夜景ロープウェイは9月13日~10月6日の金・土・日・祝日※点検作業連休11月8日~13日 ※索道施設改修工事連休5月27日~6月9日
- 時間/9:00~16:20(10月は始発便が土・日・祝日=8:15、平日=8:30に変更、夕焼けロープウェイは18:40まで、星空・夜景ロープウェイは19:00まで延長)
- 休/無休(天候状況により運休となる場合があります)
- 料金/ロープウェイ運賃大人往復2,000円 ※夏休み期間中は小学生無料企画あり(要問合せ)
- 問/☎017-738-0343
- 交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約1時間、またはJR奥羽本線青森駅よりバス約1時間20分

八甲田ロープウェイ 山頂公園眺望ウッドデッキ 【青森県・青森市】 ROUTE 229

2017年、八甲田ロープウェイ山頂公園駅に完成。標高1,500m以上の山々から裾野の毛無岳湿原まで見渡せる大パノラマで、秋の紅葉は絶景です。車イスでも利用できます。

- 問/☎017-738-0343
- 交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約1時間、またはJR奥羽本線青森駅よりバス約1時間20分



城ヶ倉大橋【青森県・青森市】 ROUTE 230

「津軽」と「南部」を結ぶ橋として知られ、全長360メートル、上落式アーチ橋として完成当時日本一の長さを誇ります。八甲田連峰が一望でき、城ヶ倉渓流の絶景も楽しめます。

- 問/東青地域県民局地域整備部 ☎017-728-0200
- ※城ヶ倉大橋付近の紅葉情報はホテル城ヶ倉 ☎017-738-0658
- 交通/JR東北新幹線新青森駅またはJR奥羽本線青森駅よりバス約1時間、「城ヶ倉温泉」下車後徒歩約20分

水面に映える 紅葉の名所

鴫沼散策 【青森県・十和田市】 ROUTE 232

鴫沼(P43)の近くに佇む鴫沼。7つある沼の内、6つの沼を約1時間で巡る遊歩道「沼めぐりの小路」が整備され、野鳥観察も楽しめます。

- 問/奥入瀬渓流館 ☎0176-74-1233
- 交通/JR奥羽本線青森駅よりバス約1時間30分



酸ヶ湯温泉地獄沼 【青森県・青森市】 ROUTE 231

爆裂火口跡に、近くから湧き出る温泉がたまってできた沼。硫黄臭漂うガスや温泉が噴出しているため、草木が生えない荒涼とした景色が広がっています。

- 問/青森市交流推進課 ☎017-734-5175
- 交通/JR奥羽本線青森駅よりバス約1時間10分、「酸ヶ湯温泉」下車後徒歩約5分



蕪島【青森県・八戸市】 ROUTE 225

ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている蕪島。ウミネコの様子を間近で観察することができる場所です。火災により社殿が全焼したため、現在は再建に向けて地元はもとより全国から支援が寄せられています。

- 問/蕪嶋神社 ☎0178-34-2730
- ※社務所9:30~16:30
- 交通/JR八戸線蛟駅より徒歩約15分
- ※現在、蕪嶋神社の再建工事のため島内立入禁止

種差海岸【青森県・八戸市】 ROUTE 224

どこか異国情緒を漂わせる壮大な自然景観で、かつ貴重で多様な植物が咲き誇る「花の渚」であり、平成25年(2013年)に「三陸復興国立公園」に指定。一面に広がる天然芝生地ほか、荒々しくも繊細な海岸美が圧巻です。

- 問/種差海岸インフォメーションセンター ☎0178-51-8500
- 交通/JR八戸線種差海岸駅より徒歩約5分



種差海岸



種差海岸 インフォメーションセンター 【青森県・八戸市】 ROUTE 226

司馬遼太郎や東山魁夷など多くの文人・芸術家に愛された種差海岸の魅力や旬の情報、体験プログラムを提供。施設前にある「ウミネコの飛翔 水飲み場」にも注目。一定時間ごとにウミネコのからくり人形が動きます。

- 時間/9:00~17:00(季節により変更あり)
- 料金/無料 ■休/12月29日~1月1日
- 問/☎0178-51-8500
- 交通/JR八戸線種差海岸駅より徒歩約5分



大沼周遊遊覧船・ボート【北海道・七飯町】 道南

大小126の島々が浮かぶ大沼公園。遊覧船や手漕ぎボート、モーターボートなどお好きなスタイルで雄大な景色を眺めながら島めぐりを。

- 期間/4月上旬~12月中旬
- 時間/所要時間・運航時間ともにコースにより異なる
- 料金/【遊覧船】大人1,100円、小人550円、【手漕ぎボート(1時間)】2人乗り:1,500円、3人乗り:2,000円、【モーターボート(10分)】大人1,600円、小人800円、【ペダルボート】2人乗り:1,500円~
- 休/期間中無休
- 問/大沼合同遊覧 ☎0138-67-2229
- 交通/JR函館本線大沼公園駅より徒歩約5分

キャンパー 特別企画

当ガイドブックご提示で、
全施設優待割り。(100円引)



大沼公園

大沼公園【北海道・七飯町】 道南

秀峰駒ヶ岳と、大沼、小沼、じゅんざい沼の景色が美しい国立公園。遊覧船やボート、サイクリングなどのアウトドアアクティビティが楽しめます。

- 問/七飯大沼国際観光コンベンション協会 ☎0138-67-3020
- 交通/JR函館本線大沼公園駅より徒歩約5分

Paard Musée (パド・ミュージエ) 【北海道・七飯町】 道南

大沼流山牧場の一角にある観光・教育ファーム。動物の飼育や動物のリズムに合わせた暮らしを体験する宿泊付きのプログラムを行っています。

- 時間/9:00~17:00
- 料金/体験により異なる ■休/年中無休
- 問/大沼流山牧場 ☎0138-67-3339
- 交通/JR函館本線流山温泉駅より徒歩約5分

体験 Experience





にしん親子丼 [北海道・江差町]

かつてニシン漁で繁栄を極めた江差は、数々のニシン料理が伝わる町。中でも人気があるのは甘辛く煮たニシンに数の子をせた「にしん親子丼」。(ハーフそばとのセット)

- 時間 / 11:00~15:00
- 料金 / 1,400円 ■休 / 月曜日
- 問 / お食事処 えさし ☎0139-52-6800
- 交通 / JR函館本線函館駅よりバス約2時間、またはJR北海道新幹線木古内駅よりバス約1時間30分

知内かき [北海道・知内町]

大きく身の詰まった知内町産の牡蠣を堪能できます。目の前で焼き上げられる牡蠣や新鮮な魚介も一緒にどうぞ。

- 時間 / 11:00~20:00
- 料金 / メニューにより異なる
- 休 / 1月1日・2日(予定)
- 問 / かき小屋知内番屋 ☎01392-6-7511
- 交通 / JR北海道新幹線木古内駅より車約15分



かき小屋知内番屋で、当ガイドブックご提示で、牡蠣飯各種100円引

中泊メバルの刺身と煮付け膳 [青森県・中泊町]

2019年4月にリニューアルされた中泊産の津軽海峡メバル(ウスメバル)をメインにした新・ご当地グルメ。1匹まるごと使用した、尾頭付きの刺身とアツアツの煮付けがメインです。デザート「えご海苔ようかん」もついて大満足。

- 問 / 中泊町水産商工観光課 ☎0173-57-2111
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR北海道新幹線津軽いまべつ駅 他

当ガイドブックご提示で、中泊メバルの刺身と煮付け膳を注文された方にメバルせんべい1枚プレゼント。
【対象店舗】はくちょう亭奈良屋、ビュアレ스토랑、レストラン竜泊、おさかな海岸、くつろぎダイニング哲。

十三湖しじみラーメン [青森県・五所川原市・中泊町]

十三湖は岩木川の淡水と日本海の海水が混じり合う汽水湖。ここで育った大粒のヤマトシジミのラーメンは旨味濃厚で深い味わいです。

- 問 / 道の駅十三湖高原 ☎0173-62-3556
- ドライブイン和歌山 ☎0173-62-2357
- しじみ亭奈良屋 ☎0120-135-443
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR北海道新幹線津軽いまべつ駅 他



鱈ヶ沢ヒラメのツケ丼 [青森県・鱈ヶ沢町]

白神山地の清流と日本海の荒波に育てられたヒラメは絶品。こだわりのタレに漬け、ツケにした丼は町内の10店舗でその味を競い合っています。

- 問 / 鱈ヶ沢町観光工課 ☎0173-72-2111
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR五能線鱈ヶ沢駅 他



ホッキ貝 [北海道・北斗市]

目の前に津軽海峡が広がる北斗市の特産品は、ホッキ。冷たい海水でじっくり育つホッキは身が締まっていて、噛むほどに深い旨味があふれます。道南いざりび鉄道上磯駅周辺には、寿司、カレー、しゅうまいなど、ホッキを使った料理提供店があります。

- 問 / 北斗市観光協会 ☎0138-77-5011
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) 道南いざりび鉄道上磯駅

かにめし [北海道・長万部町]

1950年に誕生した長万部名物。1966年に「日刊スポーツ全国駅弁大会」で日本一になり、全国的に有名になりました。町内店舗で販売しており、食べ比べが楽しめます。

- 問 / 長万部町産業振興課 ☎01377-2-2455
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR函館本線長万部駅



イカ [青森県・北海道広域]

青森・道南で獲れるスルメイカやヤリイカは、活きが良くて抜群のおいしさ。水揚げされたばかりの新鮮なイカは、肝まで味わえ、身はコロコロとした歯ごたえで、濃厚な甘みが広がります。



のっけ丼 [青森県・青森市] ROUTE 234

市場に並んでいる食材をちょっとずつ選んで、のっけて食べる自分だけのワガママ丼。具材も量も好きなだけチョイスできます。

- 場所 / 青森魚菜センター内
- 時間 / 7:00~16:00(ご飯がなくなり次第終了)
- 料金 / 食事券制(650円、1,300円の2種)
- 休 / 火曜日
- 問 / のっけ丼案内所(青森魚菜センター内) ☎017-763-0085
- 交通 / JR奥羽本線青森駅より徒歩約5分



七子八珍 [青森県・青森市]

青森で親しまれている新鮮な魚介類34品の総称。7種の魚卵(七子)と8種の珍味(八珍)など、青森自慢の海の幸です。

- 問 / 青森観光コンベンション協会 ☎017-723-7211
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR奥羽本線青森駅

深浦マグロステーキ丼 [青森県・深浦町]

近海の天然本マグロを3種の小丼で味比べ。刺身、片面焼き、両面焼きのマグロづくしの丼御膳を町内の取扱い店舗で提供しています。

- 問 / 深浦マグロ料理推進協議会(深浦町役場内) ☎0173-74-2111
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR五能線ウェスパ椿山駅・十二湖駅 他



津軽海峡、日本海、太平洋、陸奥湾に囲まれ、暖流、寒流が入り混じる青森県・北海道道南は、四季折々、海の幸に恵まれた魚介の宝庫。獲れたての旬の味をたっぷり召し上がれ。

海の恵み

津軽海峡と海流が育む



佐井のウニ丼 [青森県・佐井村]

ご飯の上に山盛りになったウニ丼!津軽海峡の良質な海藻を食べて育つタムラサキウニは、甘くて濃厚な味わい。

- 問 / 佐井村観光協会 ☎0175-38-4515
- ※ウニは解禁中のみの提供のため、7月で終了する場合があります。
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR大湊線下北駅 他



みそ貝焼き [青森県・むつ市]

大きなホタテの貝殻に、味噌を出汁で溶き、ホタテや海藻、豆腐などを並べ、煮込んで卵でとじる郷土料理。家庭やお店によって味や貝もさまざまです。

- 問 / みそ貝焼き普及研究会(むつ商工会議所内) ☎0175-22-2282
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR大湊線下北駅 他

大間マグロ [青森県・大間町]

黒いダイヤと呼ばれる天然本マグロの大間マグロ。漁法は一本釣りや延縄漁で、マグロに傷が付かず、魚が弱る前に血抜き活き作業をするため新鮮。大トロ・中トロ・赤身の3色マグロ丼やお寿司など脂ののったろけるような味わいのマグロを、ぜひ現地で味わってください。

- 問 / 大間町観光協会 ☎0175-37-2233
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR大湊線下北駅



東通天然ヒラメ刺身重 [青森県・東通村]

東通村が誇る地産産材が数々並ぶ地産地消のコース料理。メインは「刺身5点盛り」「特製三段重」「ファイヤーグルメ」からなる天然ヒラメの三部作。※事前予約をおすすめいたします。

- 問 / 東通ヒラメ料理推進協議会(東通村経営企画課内) ☎0175-27-2111
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR大湊線下北駅 他



海峡サーモン丼 [青森県・むつ市] ROUTE 233

淡水で2年間育てたニジマスに海に移し、秋から春まで養殖された海峡サーモンたっぷりの丼。津軽海峡の荒波にもまれて育ち、身の締まりも脂のノリも最高。

- 時間 / 8:30~18:00(4月・9月~11月10日)、8:30~19:00(5月~8月)、10:00~17:00(11月11日~3月)
- 料金 / 880円 ■休 / 12月30日~1月3日、1月~3月の火曜日
- 問 / 奥葉研修公園レストハウス ☎0175-34-2008
- 交通 / JR大湊線下北駅より車約20分
- ※当日の水揚げ状況により提供できないことや一部内容が変更になる場合がございます。



八戸前沖さば [青森県・八戸市]

八戸港に水揚げされる八戸前沖さば。旨さの秘密は、「日本一脂ののったサバ」とも言われる脂の乗り。サバは、海水温が18度以下になると粗脂肪が高くなると言われ、本州最北端のサバ漁場である八戸港には、粗脂肪分の多いものが水揚げされます。

- 問 / 八戸前沖さばブランド推進協議会事務局(八戸商工会議所内) ☎0178-43-5111
- 交通 / 店舗により異なる(最寄駅) JR八戸線八戸駅 他



「全国ご当地とんぶり選手権」で数々のグランプリを受賞した「八戸前沖さばの漬け丼」

※各スポットの番号を使って自由に周遊ルートを作成できます。詳しくはP.2をご覧ください。



AREA GUIDE

青森・八甲田・十和田エリア

青森市・十和田市平内町今別町・蓬田村・外ヶ浜町・七戸町

進化するアスパム 活気を増す青森

青森県の観光拠点「アスパム」が、ますます賑わいを見せている。今年3月15日には映像シアター「青い森ホール」がリニューアルオープンし、日本最大の360度のパノラマ映像がたっぷり体感できるようになった。青森県の四季を映像美で鑑賞できるほか、専用のメガネをかけると青森の夏祭りの3D映像が楽しめる。

中国、台湾、韓国を中心に訪日外国人が増え、2017年にホテルや旅館に泊まった外国人延べ宿泊者数の伸び率が全国第1位に輝いた青森県。昨年にはアスパム内に多言語で観光案内を行う「あおもリグローバルラウンジ」を開設。WiFi環境や決済環境も充実した。進化する青森の“今”から目が離せない。

青森市内
マップやおトクで
便利なガイド・
交通情報は
P17



青森県観光物産館アスパム [青森市] ROUTE 301

青森県の観光と物産の拠点施設。青森市街や下北・津軽・夏泊の各半島、陸奥湾や八甲田の山々を一望できる展望台のほか、360度の3D映像シアター「青い森ホール」、県内最大級の品揃えを誇るお土産コーナーあり。

- 時間/9:00~21:00(施設により異なる)
- 料金/入館無料(一部有料)
- 【3D映像シアター観覧(2D+3Dセット)】大人600円、中・高校生450円、小学生300円 ※アスパム+ワ・ラッセ2館共通観覧券もあり(大人1,000円、高校生750円、中学生600円、小学生450円)
- 休/12月31日ほか
- 問/☎017-735-5311
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約10分

青い森ホール・3D映像シアター



青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 [青森市] ROUTE 304

日本初の鉄道連絡船ミュージアム。かつて青森・函館の架け橋として活躍していた青函連絡船八甲田丸を、往時の岸壁に係留保存し、公開しています。船内では青函連絡船の構造や、80年の歴史をパネルや映像で学ぶことができます。また、操舵室や機関室、昭和30年代の青森駅前を再現した「青函ワールド」が見学できます。

- 時間/9:00~19:00(4月~10月) ※入館は18:00まで
- 9:00~17:00(11月~3月) ※入館は16:30まで
- 料金/大人500円、中・高校生300円、小学生100円
- 休/11月~3月の毎週月曜日(祝日の場合翌日)、12月31日、1月1日
- 問/あおもりみなとクラブ ☎017-735-8150 ■交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約5分

キャンパ
特別企画
7月中旬~8月中旬の毎週土・日・祝日、青森ねぶた祭期間8月2日~6日(予定)に、蒸気船「青い海号」の乗船券をご提示で、八甲田丸観覧料1割引。※「青い海号」とは、青森ベイエリア周辺の陸奥湾をゆったりクルージングする蒸気船です。



©ADAGP, Paris&JASPAR, Tokyo, 2019, Chagall C2787
奈良美智 (Miss Forest / 森の子)
Photo: ©Yuki Morishima(D-CORD)
Artwork: ©Yoshitomo Nara

青森県立美術館 [青森市] ROUTE 305

奈良美智、棟方志功など青森県ゆかりの作品を常設展示。マルク・シャガールの「ある夏の午後の麦畑」を米国フィラデルフィア美術館から4年間借り受け、パレエ「アレコ」舞台背景画全4作品が2017年からアレコホールに勢揃いし一般公開されています。

- 時間/9:00~18:00(6月~9月) ※入館は17:30まで
- 9:30~17:00(10月~5月) ※入館は16:30まで
- 料金/常設展:大人510円、高・大学生300円
- 小・中学生100円 ※企画展は展覧会ごとに観覧料が異なる
- 休/第2・第4月曜日(祝日の場合翌日) ※企画展開催時は変更の場合あり
- 問/☎017-783-3000 ■交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約10分



A-FACTORY [青森市] ROUTE 306

青森県産リンゴで作るシードルの工房と、地元の食材・名産品が並ぶマルシェやレストランからなる複合施設。リンゴを使ったお土産品が充実しています。

- 時間/9:00~20:00 ※一部店舗によって異なる
- 料金/入館無料
- 休/不定休
- 問/☎017-752-1890 ■交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



ROUTE 308 アウガ新鮮市場 [青森市]

陸奥湾などで水揚げされた鮮魚や乾物、野菜、水産加工品やお酒など、地物の名物が勢ぞろい。飲食店もあって休憩に便利です。

- 時間/5:00~18:30
- 料金/入場無料
- 休/不定休
- 問/アウガ ☎017-718-0151
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約5分



ROUTE 307 あおもり帆立小屋 [青森市]

釣り竿を使って、生け簀のホタテを2分間釣り放題。釣ったホタテは、館内で浜焼き、お刺身など様々な調理法で味わえます。

- 時間/11:00~22:00
- 料金/帆立釣り体験:500円
- ※釣れなかった場合2枚プレゼント
- 休/12月31日、1月1日
- 問/☎017-752-9454
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ

道の駅「なみおか」アップルヒル [青森市] ROUTE 309

青森市浪岡にある道の駅。観光リンゴ園があり、9月~11月は収穫体験ができます。また、手作りジェラートや手作りスイーツが人気です。

- 時間/9:00~19:00
- (11月16日~3月15日は18:00まで)
- ※時期によって施設ごとに営業時間が異なります。
- 休/1月1日
- 問/☎0172-62-1170 ■交通/JR奥羽本線浪岡駅より車約5分



青森の風土や文化を探求



ROUTE 313 棟方志功記念館 [青森市]

世界に誇る板画家・棟方志功の収蔵作品数が国内最多。年4回の展示替える板画だけでなく、版画や油絵、書など幅広いコレクションに魅了されます。

- 時間/9:30~17:00
- (4月~10月は9:00開館)
- 料金/大人500円、大学生300円
- 高校生200円
- 休/月曜日(祝日の場合開館)
- 臨時休館あり、12月29日~1月1日
- 問/☎017-777-4567
- 交通/JR奥羽本線青森駅よりバス約15分



ROUTE 312 青森県近代文学館 [青森市]

青森県立図書館の2階にあり、太宰治・寺山修司など青森県を代表する13人の作家について紹介。太宰作品「人間失格」の草稿も展示しています。

- 時間/9:00~17:00
- 料金/無料
- 休/館内整理日
- (毎月第4木曜日、奇数月第2水曜日)
- 蔵書点検期間、12月29日~1月3日
- 問/☎017-739-2575
- 交通/JR奥羽本線青森駅よりバス約20分



ROUTE 311 青森市森林博物館 [青森市]

明治41年建築のルネッサンス式木造建物の旧青森大林区署(のちの青森営林局)庁舎。自然や森、人との関わりが学べる施設です。

- 時間/9:00~17:00(4月~10月)
- 9:00~16:30(11月~3月)
- 料金/大人240円、高・大学生120円
- 70歳以上の方・中学生以下の方無料
- 休/月曜日(祝日の場合翌日)、12月28日~1月4日
- 問/☎017-766-7800
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約15分



ROUTE 310 青森県立郷土館 [青森市]

昭和6年建築の旧青森銀行本店社屋を再利用した総合博物館。青森県の自然・歴史・文化が学べます。

- 時間/9:00~17:00
- (5月~10月は18:00まで)
- 料金/常設展:大人310円
- (特別展は別途)、高・大学生150円
- 休/12月29日~1月3日
- 及び館内整理日(不定期)
- 問/☎017-777-1585
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約20分



竹浪比呂央ねぶた研究所 [青森市] ROUTE 303

ねぶた文化を担う後継者の育成と、新しい可能性を追求する事を目的に、ねぶた師・竹浪比呂央氏が設立。実際に運行したねぶたの彩色和紙を再利用したフロアライト「KAKERA」他、ねぶたグッズの企画販売も行っています。ねぶた制作の見学もできます。

- 時間/10:00~17:00
- (作業見学は期間限定)
- 料金/見学無料
- 休/月曜日(祝日の場合翌日)
- 問/☎017-752-1616(FAXのみ)
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩約10分

ROUTE 302 ねぶたの家 ワ・ラッセ [青森市]

ねぶたホールには、実際にねぶた祭に出陣した大型ねぶたがずらり。囃子やハネト体験もでき、青森ねぶた祭の世界にひたることができます。

- 【ねぶたミュージアム・ねぶたホール】
- 時間/9:00~19:00(5月~8月)
- 9:00~18:00(9月~4月)
- 料金/大人600円、高校生450円、小・中学生250円
- 休/12月31日、1月1日、8月9日・10日
- 問/☎017-752-1311 ■交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



ねぶたの家 ワラッセで開催!

ぶーnebuta2019 [青森市]

津軽弁で綴られる青森の美しい情景と伝統文化映像と共に、青森市観光大使のアクロバットパフォーマンス BLUE TOKYOが可憐に舞い踊り、時に猛々しく躍動するステージ。若き担ぎ太鼓演奏者の音色も体感できる、青森の魅力凝縮したエンターテインメントをお楽しみください。

- 場所/ねぶたの家 ワ・ラッセ(イベントホール)
- 期間/7月31日~8月4日 ※7月31日 18:00、8月1日 11:00・16:30、8月2日・3日 14:00・17:00、8月4日 12:00・15:00、アフタートークショー 16:00 ※要問合せ
- 時間/日によって異なる(上演時間約40分)
- 料金/大人2,000円、中学生以下1,800円
- 問/BLUE ties Impression ☎070-5367-9133(平日10:00~18:00)
- 交通/JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



周遊におすすめのパス!

NEP×NEBパスポート [青森市・弘前市] [五所川原市]

「ねぶたの家 ワ・ラッセ(青森市)」 「津軽藩ねぶた村(弘前市)」 「立佞武多の館(五所川原市)」の3施設に入館できるおトクな共通入場券です。

- 有効期間/なし
- 料金/大人1,400円、高校生1,000円、中学生700円、小学生600円
- 販売箇所・問
- ねぶたの家 ワ・ラッセ ☎017-752-1311
- 津軽藩ねぶた村 ☎0172-39-1511
- 立佞武多の館 ☎0173-38-3232



ひらなまるごとグルメ館 [平内町] ROUTE 316

2018年5月にオープンした平内産ホタテの魅力を発信するグルメスポット(「はたて広場」に隣接)。「平内ホタテ活御膳」や「活ホタテ皿寿司」など、平内産ホタテを使った創作メニューを多数提供しているホタテ料理専門のレストラン「ホタテ一番」や浜焼きスペースがあり、ホタテのおいしさを堪能できます。

■時間/11:00~19:00(L.O.18:30) ■休/水曜日 ■問/☎017-764-0251
■交通/青い森鉄道浅虫温泉駅より徒歩約20分、または車約5分

津軽半島の岬の旅へ



龍飛崎 [外ヶ浜町] ROUTE 321

津軽半島の北端にある岬。北半島や日本海、北海道の松前半島が一望できます。

■問/外ヶ浜町産業観光課 ☎0174-31-1228
■交通/JR津軽線三戸駅よりバス約30分



よもぎた物産館 マルシェよもぎた [蓬田村] ROUTE 323

蓬田村の特産品であるトマトの大きな看板が目印の物産館。買い物はもちろん、年間通して陸奥湾を眺めながらランチを楽しむことができます。オススメメニューは、料理の味を引き立てる酸味の効いたブランドトマト「サマーセレクト」をソースベースとした「ナポリタン」です。

■時間/9:00~17:00 ■休/12月31日~1月3日 ■問/☎0174-31-3040
■交通/JR津軽線郷沢駅より徒歩約15分

蓬田村産トマト「プチぷよ」 [蓬田村]

食べた人の多くが驚くフルーツのような甘さと、薄くて食べやすい果皮。今までのトマトのイメージが変わる、おいしい新名物です。

■収穫時期/6月末頃~9月 ■よもぎた物産館マルシェよもぎたで販売

ROUTE 00 ※各スポットの番号を使って自由に周遊ルートを作成できます。詳しくはP.2をご覧ください。



ほたて広場 [平内町] ROUTE 315

陸奥湾で獲れた旨みたっぷりのホタテの魅力を見て・学び・味わう施設。活ホタテや鮮魚が買える他、ほたて漁業の歴史や、養殖方法を学べます。

■時間/9:00~18:00(4月~10月) 9:00~17:00(11月~3月)
■休/水曜日、12月31日~1月2日 ■問/☎017-752-3220
■交通/青い森鉄道浅虫温泉駅より徒歩約20分、または車約5分



ROUTE 314

青森県営浅虫水族館 [青森市]

約300種類1万点を展示する本州最北端の水族館。「むつ湾の海」を再現したトンネル水槽が見どころです。イルカたちのパフォーマンスも大人気!

■時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
■料金/大人・高校生1,020円 小・中学生510円、幼児無料
■休/年中無休 ■問/☎017-752-3377
■交通/青い森鉄道浅虫温泉駅より徒歩約10分

階段国道 [外ヶ浜町] ROUTE 317

龍飛崎には日本で唯一の「階段国道」で、徒歩のみ通行可能な国道339号があります。海沿いにあり、津軽海峡が見渡せます。

■問/外ヶ浜町産業観光課 ☎0174-31-1228
■交通/JR津軽線三戸駅よりバス約30分



龍馬山義経寺 [外ヶ浜町] ROUTE 318

源義経が祈りを捧げたとされる観音像が安置されている「義経北行伝説」ゆかりの寺。後に円空が仏像を彫り、中に観音像を納めてお堂に祀ったことが起源とされます。

■時間・料金/参拝自由 ■問/☎0174-37-2045
■交通/JR津軽線三戸駅よりバス約10分

龍飛岬観光案内所「龍飛館」 [外ヶ浜町] ROUTE 319

太宰治や棟方志功が宿泊した「旧奥谷旅館」を改修した観光案内所。小説「津軽」で太宰が友人N君と過ごした部屋が今も残されています。

■時間/9:00~16:00(入館は15:00まで) ■料金/無料
■休/水曜日、年末年始 ■問/☎0174-31-8025
■交通/JR津軽線三戸駅よりバス約30分



青函トンネル記念館 [外ヶ浜町] ROUTE 320

世界最長の海底トンネル「青函トンネル」の資料を展示。ケーブルカーに乗って海面下140mの世界を体験できます。実際に歩いて坑道を見学できる「体験坑道」は、探検気分も味わえます。

■期間/4月20日~11月5日 ■時間/8:40~17:00
■料金/大人400円、小人200円(体験坑道乗車券は別途)
■休/11月6日~4月下旬 ■問/☎0174-38-2301
■交通/JR津軽線三戸駅よりバス約30分

キャンペーン 特別企画
当ガイドブックご提示で、入館料・ケーブルカー乗車運賃2割引。さらにオリジナルしおりもプレゼント。

道の駅 いまべつ「半島ぶらざアスクル」 [今別町] ROUTE 322

北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」と津軽線「津軽二股駅」に隣接し、レストランや売店を併設する観光拠点です。町特産品のみずくを練りこんだ「みずくうどん」がイチオシ!また、幻の黒毛和牛ともいわれている「いまべつ牛」のステーキもおすすめです。(ステーキは限定10食 ※提供していない日もあるので要問合せ)

■時間/9:00~19:00(レストラン:11:00~15:00)
■料金/入館無料 ■休/年中無休
■問/☎0174-31-5200
■交通/JR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅、またはJR津軽線津軽二股駅より徒歩すぐ

荒馬の里資料館 [今別町] ROUTE 324

旧大川平小学校校体育館を活用した資料館。大川平地区の祭り太鼓、扇ねぶたや荒馬の衣装などが展示され、荒馬まつりの映像や過去の写真なども見ることが出来ます。

■期間/4月~10月 ■時間/10:00~15:00
■料金/無料 ■休/期間中無休 ※見学の場合、事前要予約
■問/今別町産業観光課 ☎0174-35-3005
■交通/JR津軽線大川平駅より徒歩約10分、またはJR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅より徒歩30分、または車約15分



あおりカシス [青森市]

日本一のカシスの生産量を誇る青森市。ジャムやケーキなど加工品もつくられています。

■問/あおりカシスの会事務局 (青森市あおり産品支援課) ☎0172-26-6103

生姜味噌おでん [青森市]

青森市では、おでんは「生姜味噌」が一般的。青函連絡船を待つ乗客のために体が温まるよう、生姜を味噌だれに入れたのがはじまりといわれています。

■問/青森おでんの会 ☎090-8253-6718(担当:石田)
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線青森駅 他

あおり寿司クーポン・青森寿司店クーポン [青森市]

市内の寿司店で鮮度抜群のお寿司や刺し盛りなどが堪能できる「安心」で「お得」なクーポンです。楽しみ方に応じて値段を選べます。

■料金/1,620円・5,000円 ■問/青森商工会議所 ☎017-734-1311

青森市内で買える
おいしい蕎麦 / あおり寿司クーポン
5,000円

びゅうプラザで買える
「お得に味わう」青森寿司店クーポン
1,620円

■問/青森おでんの会 ☎090-8253-6718(担当:石田)
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線青森駅 他

青森市内観光にうれしいガイド・交通・おトクなクーポン情報

青森ベイエリア周遊券 [青森市]

アスパム(有料コーナー)、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸、ねぶたの家 ワ・ラッセの3施設をおトクに楽しめます。

■料金/大人1,300円、高校生900円 中学生700円、小学生500円
■問/青森県観光物産館アスパム ☎017-735-5311
青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 ☎017-735-8150
ねぶたの家 ワ・ラッセ ☎017-752-1311

あおり街てく [青森市]

地元ガイドが青森市内の見どころをご案内するので、街なかのおもしろ話が聞けます。青森発祥の地をめぐる「歴史と文化コース」、ベイエリアを歩く「風景コース」、商店街や市場を回る「味とショッピングコース」などをご用意しています。

■期間/毎週金・土・日曜、祝日(予約はホームページか電話。平日は要相談)
■時間/10:00~、13:30~(所要時間:約2時間 ※コースにより異なる)
■料金/無料
■問/青森市観光交流情報センター内あおり街てく ☎017-723-4670

まちなかレンタサイクル [青森市]

1回300円の格安自転車レンタルで、駅前の商店街や公園を快適に散策してみませんか?

■レンタル場所/青森駅乗降場、アスパム アートホテル青森、ホテル青森
■期間/4月中旬頃~10月31日まで
■時間/10:00~17:00
※青森駅乗降場は9:00~、最終受付16:00
■問/「パサー」ジュエリー事務所 ☎017-721-2111

気ままたが嬉しい手ぶら観光 [青森市]

青森駅前の青森市観光交流情報センターでは、荷物を青森市内の宿泊施設(一部青森市内と浅虫・八甲田地区などを除く)まで配達してくれます。

■受付時間/8:45~15:00(当日20:00頃までにお届け)
■料金/大1個1,000円、小1個600円
■問/青森市観光交流情報センター ☎017-723-4670 ※除外日など要問合せ



味噌カレー牛乳ラーメン [青森市]

牛乳のマイルドな味わいに味噌とカレーの風味が三位一体となったスープと、それによく絡む中太麺はクセになる美味しさ。

■問/青森味噌カレー牛乳ラーメン普及会事務局 (担当:佐々木) ☎017-766-8663

■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線青森駅 他

津軽煮干ラーメン

近年首都圏でも広まりつつある煮干ラーメンの本場はここ津軽地方。煮干しや焼き干しに動物系スープをあわせた濃厚魚介系や、煮干し本来の旨味が際立つすっきり系など、本場ならではの味を食べ比べてみてはいかがでしょうか。

■問/津軽ラーメン煮干し会事務局(五丈軒) ☎017-762-2255

■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線青森駅 他

青森の寿司 [青森市]

本マグロや陸奥湾のホタテなど、自慢の海産物が新鮮かつ「クーポン」でお得に味わえます(左記参照)。産地ならではのとろける旨味をご堪能あれ!

■問/青森商工会議所 ☎017-734-1311
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線青森駅 他

あおりシャトルdeルートバス「ねぶたん号」 [青森市]

青森駅や新青森駅をはじめとした交通拠点と、「三内丸山遺跡」や「アスパム」などの主要な観光施設を結ぶシャトルバスです。

■料金/[1回乗車]大人300円、小学生150円
[1日乗車券]大人700円、小学生350円
[2日乗車券]大人800円、小学生400円
[1日乗車券・2日乗車券は、車内・青森市観光交流情報センター・主要観光施設・主要宿泊施設で販売]
■問/青森観光バス ☎017-739-9384
■時刻/ホームページをご覧ください。



コース①/三内丸山遺跡→県立美術館→新青森駅東口(③乗り場)→津軽海峡フェリーターミナル→あおり北のまほろば歴史館→アスパム→青森駅(⑦乗り場)→県立郷土館→ホテル青森→棟方志功記念館

コース②/棟方志功記念館→ホテル青森→県立郷土館→青森駅(⑦乗り場)→アスパム→あおり北のまほろば歴史館→津軽海峡フェリーターミナル→新青森駅東口(③乗り場)→県立美術館→三内丸山遺跡

コース③/青森駅(⑦乗り場)→アスパム→あおり北のまほろば歴史館→津軽海峡フェリーターミナル→新青森駅東口(③乗り場)→県立美術館→三内丸山遺跡

コース④/三内丸山遺跡→県立美術館→新青森駅東口(③乗り場)→津軽海峡フェリーターミナル→あおり北のまほろば歴史館→アスパム→青森駅(⑦乗り場)



ROUTE 336

旧南部縦貫鉄道レールバス[七戸町]

昭和37年(1962年)~平成9年(1997年)まで野辺地駅と七戸駅を結んでいた「南部縦貫鉄道レールバス」。その車両がファン熱意で旧七戸駅に保存・一般公開されています。

- 場所/旧七戸駅構内
- 時間/土・日曜の10:00~16:00 ※平日の見学は7日前まで要予約
- 料金/無料 ■休/不定休 ※要問合せ ■問/しちのへ観光協会 ☎0176-58-7109
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約10分



鷹山宇一記念美術館 [七戸町] ROUTE 335

七戸町出身の洋画家・鷹山宇一氏を顕彰して建てられた美術館。油彩画をはじめ、画伯が集めた19世紀後半の西洋の様々なランプや、20世紀はじめの日本の装飾オイルランプを展示しています。

- 時間/10:00~18:00 (入場は17:30まで)
- 料金/大人500円 高・大学生300円 小・中学生100円
- ※特別展開催時は入館料に変更あり
- 休/月曜日(祝日の場合翌日)※特別展開催時は変更あり ■問/☎0176-62-5858
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より徒歩約5分



八甲田山雪中行軍遭難資料館 [青森市] ROUTE 326

明治35年(1902年)に起きた八甲田山雪中行軍遭難事件。その極寒の惨事を、解説文や模型を展示し、映像では遭難した青森隊と生還した弘前隊を比較して解説しています。

- 時間/9:00~18:00(11月~3月は16:30まで)
- 料金/大人260円、高・大学生130円、70歳以上と中学生以下無料
- 休/12月31日~1月1日、2月の第4水・木曜日
- 問/☎017-728-7063 ■交通/JR奥羽本線青森駅よりバス約45分



星空・夜景ロープウェー [青森市] ROUTE 325

八甲田・田茂岳(たもやちだけ)山頂公園駅付近では満天の星空と青森市や津軽地方の夜景を觀賞できます。9月下旬には山頂付近のゴードラインから紅葉も始まるので、紅葉と夕陽のセットもおすすです。

- 期間/9月13日~10月6日(金・土・日・祝日) ■時間/上り最終19:00、下り最終19:20(予定)
- 料金/往復 大人2,000円、小人700円 ■問/八甲田ロープウェー ☎017-738-0343
- 交通/JR東北新幹線新青森駅よりバス約1時間、またはJR奥羽本線青森駅よりバス約1時間20分【通常のロープウェー】■期間/通年 ■時間/9:00~16:20



ROUTE 337 東八甲田ローズカントリー [七戸町]

朝に摘み取った新鮮なバラの直売所や期間限定「ばらソフト」が人気です。事前予約でバラの摘み取り体験もできます。

- 時間/9:00~16:30 (入場は16:00まで)
- 料金/ローズガーデン内見学無料 ※まつり期間中は有料になる場合があります
- 休/12月28日~1月3日、1・2月の土・日・祝日
- 問/☎0176-62-5400
- しちのへ観光協会 ☎0176-58-7109
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約10分



キャンペーン特別企画
NANAカードご入会で、ローズカントリー摘み取り体験付きガイドプラン通常2,500円が2,000円に割引。

【摘み取り体験】
■期間/5月~10月(2日前まで要予約、3名~)※6月中旬~7月上旬のバラまつり期間は予約不要

道の駅しちのへ [七戸町] ROUTE 338

農産物直売所や特産品コーナー、地元産の草木を販売する花き展示館、郷土料理が味わえるレストランがあり、鷹山宇一記念美術館が隣接しています。

- 時間/9:00~18:00
- 休/3月31日
- 問/☎0176-62-5777
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より徒歩約5分

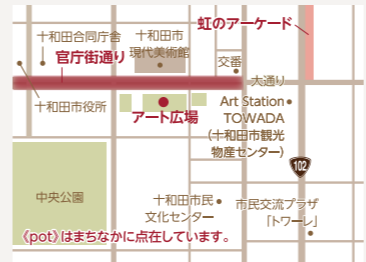


まだまだある!

十和田市まちなかアート [十和田市]

十和田の中心街には、写真を撮りたくなるスポットがたくさん!美術館をめくったあとは、まちなか散歩もお楽しみください。

- 問/十和田市現代美術館 ☎0176-20-1127
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約35分



アート広場 [十和田市] ROUTE 328

十和田のメインストリートを美術館に見立て、草間彌生などのアート作品を展示。作品の撮影OK。芸術作品と身近にふれあえるアートのスポットです。

- 問/十和田市現代美術館 ☎0176-20-1127
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約35分

体験 Experience 高森山総合運動公園(乗馬体験) [十和田市] ROUTE 332

馬に乗って、乗馬クラブから里山の風景が広がる高森山総合運動公園をめぐります。乗馬体験、沐浴、森林セラピー、バードウォッチングが同時に楽しめます。

- 期間/通年 ■時間/9:00~17:00
- 料金/90分コース1名13,890円、60分コース1名9,260円 ※7日前まで要予約
- 休/火曜日 ■問/十和田乗馬倶楽部 ☎0176-26-2945
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約30分



りまろくまや 鯉川郷手打ちそば体験 [十和田市] ROUTE 333

水車小屋や茅葺き民家などがある「手づくり村鯉川郷」。水車で挽いたそば粉を使ったそば打ち体験ができます。

- 時間/9:00~17:00
- 料金/定員5名~9名:2,000円、定員10名~50名:1,500円(要予約・4名以下は要相談)
- 休/11月~4月下旬(予定) ■問/手づくり村鯉川郷 ☎0176-27-2516
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約20分



道の駅とわだ [十和田市] ROUTE 334

センターハウスでは、地元の新鮮な野菜や珍しい洋野菜、工芸品などを販売。工房では地元のお米や大豆で作った「農アイス」が人気。「南部製織」や「きみがらスリッパ」などの工芸品の手作り体験もできます。

- 時間/10:00~16:00
- 料金/体験により異なる ■休/月曜日(祝日の場合翌日)、12月29日~1月3日
- 問/☎0176-28-3790 ■交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約40分



青い森鉄道
青森駅~八戸駅一目時駅の121.9km、27駅を結ぶ路線。海沿いから内陸部の長閑な景色や沿線でのふれあい旅が待っています。

■区間/青森駅~八戸駅一目時駅 ■問/☎017-752-0330(平日9:00~17:30)

十和田湖ひめます [十和田市]

十和田湖のきれいな水で育ったため淡水魚特有の臭みがなく、また、身が締まっていて脂が乗った上品な味わいです。お刺身や塩焼き、天ぷらなど味わい方も色々。

- 問/十和田湖増殖漁業協同組合 ☎0176-75-2612
- 交通/店舗により異なる(最寄駅)JR東北新幹線七戸十和田駅 他

ROUTE 339 NAMIKIジェラート [七戸町]

自家農場・金子ファーム産の濃厚なジャージーミルクを使用。濃厚かつさっぱりした後味です。ブルーベリーなどの旬な果物や、トマト、カボチャなど地元の野菜を使った季節限定メニューも。

- 時間/10:00~17:00
- 料金/シングル300円、ダブル350円
- 休/年中無休(臨時休業あり)
- 問/☎0176-62-2646
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約5分



グルメ
旬の恵み特産 PT3・14もチェック!

十和田バラ焼き [十和田市]
牛バラ肉と大量の玉ねぎを醤油ベースの甘いタレで炒めた料理です。牛バラ肉の他に豚肉や馬肉を使ったバラ焼きがあり、市内の約80軒のお店で味わえます。

■問/十和田バラ焼きゼミナール(企業組合ラビアンローズ内) ☎0176-25-7758

■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR東北新幹線七戸十和田駅 他

十和田市官庁街通り [十和田市] ROUTE 329

整然と区画された十和田市の街並みの中で、ひととき美しいシンボルロード。馬のオブジェが立ち並び「駒の里」を感じられる通りです。

- 問/十和田奥入瀬観光機構 ☎0176-24-3006
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約35分



幻の穴堰 [十和田市] ROUTE 330

新渡戸稲造の父・十次郎が江戸末期に開削し、未完に終わった穴堰を歴史文化遺産として公開。150年前の工事跡から当時の測量や土木の技術を目にできます。

- 期間/5月~11月 ■時間/9:00~16:00
- 所要時間/約1時間 ■休/月曜日
- 料金/大人700円、小学生400円
- 問/幻の穴堰管理事務所 ☎0176-26-2755
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅よりバス約35分、十和田市より車約20分



十和田市馬事公苑(駒っこランド) [十和田市] ROUTE 331

乗馬馬車、ポニーと散歩、人參あげ体験など、馬とのふれあいが楽しめます。子供に人気の大型遊具や全国で珍しい馬の資料館もあります。

- 時間/8:30~18:00(4月~10月)、8:30~17:00(11月~3月)
- 称徳館9:00~16:30(最終入館16:00)、駒っこ牧場体験時間10:00~15:00
- 交流館9:00~17:30(4月~10月)、9:00~16:30(11月~3月)
- 称徳館入館料/大人300円、高・大学生100円、小学生以下無料
- 休/月曜日(祝日の場合翌日)、12月29日~1月3日
- 問/称徳館 ☎0176-26-2100、駒っこ牧場 ☎0176-20-6022、交流館 ☎0176-20-6020
- 交通/JR東北新幹線七戸十和田駅より車約25分



奥津軽を深く知る旅



奥津軽トレイル【五所川原市】

日本三大美林のひとつ「青森ひば林」と近代遺産「津軽森林鉄道軌道跡」を巡る総延長117kmのトレッキング。奥津軽の歴史や文化にふれながら、自然の癒しを体験できます。初心者から上級者まで楽しめる8つのコースで構成されています。また、健康プログラムも実施しています。(要問合せ)

- 問/奥津軽トレイル倶楽部 (かなぎ元気村内) ☎0173-52-2882
- 交通/津軽鉄道金木駅より徒歩約10分



津軽金山焼【五所川原市】 ROUTE 408

津軽金山焼のギャラリーでは展示品の鑑賞ほか買い物もできます。薪窯で焼き上げる陶器は、使うたびに色づやが良くなり、手になじんでいきます。レストランもあり。

- 時間/9:00~17:00 ※レストランは10:00~16:00(L.O.15:00)
- 料金/入館無料
- 休/年中無休 ※レストランは12月30日~1月3日
- 問/☎0173-29-3350
- 交通/JR五能線五所川原駅より車約15分

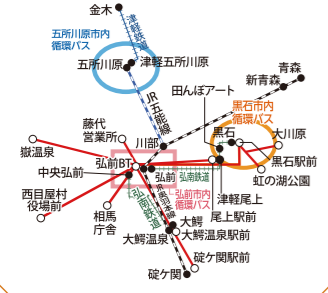
周遊におすすめのバス!

津軽フリーパス

フリーエリア内の列車とバスが2日間乗り放題。津軽の名所・温泉・観光施設をぐるっと回って楽しもう!!協賛店ではガイドブックの提示で特典も受けられます!

- 料金/おとな2,060円、こども1,030円 ※こども代金は小学生のお子様を対象となります。
- 有効期間/2日間 ■発売期間/通年

詳しくはP52をチェック!



津軽鉄道「イベント列車」

奥津軽を走るローカル線「津軽鉄道」。冬の「ストーブ列車」が特に有名ですが、夏は客室に津軽金山焼の風鈴を飾る「風鈴列車」、秋は鈴虫の籠を設置し、音色が聴ける「鈴虫列車」など訪れる人を楽しませています。

- 期間/風鈴列車:7月1日~8月31日 鈴虫列車:9月1日~10月中旬
- 区間/津軽五所川原駅~津軽中里駅
- 問/☎0173-34-2148

ROUTE 407

津軽三味線会館【五所川原市】

津軽三味線発祥の地、金木にある津軽三味線や郷土芸能を紹介する施設。世界各地の弦楽器も展示。津軽三味線の生演奏を堪能できます。

- 時間/9:00~17:00 ※生演奏は1日5回 ※五所川原立佐武多まつり期間のみ1日6回
- 料金/大人500円、高・大学生300円、小・中学生200円 ※共通券あり(斜陽館)
- 体験は7日前まで要予約(1グループ30分5,000円~ ※入館料別)
- 津軽三味線散歩あり2時間コース(3日前まで要予約)1名様3,600円(2名様以上でお申込みの場合、1名様2,400円)
- 休/12月29日
- 問/☎0173-54-1616
- 交通/津軽鉄道金木駅より徒歩約10分

キャンペーン特別企画

街歩き「津軽三味線散歩」に参加された方に、会館で当日の演奏者と記念撮影および撮影写真をプレゼント。 ※8月13日~15日を除く

津軽三味線散歩

津軽三味線発祥の地、金木のゆかりのスポットが点在する岩木川沿いをめぐり、津軽三味線のルーツや原風景を楽しみます。迫力の生演奏も!



ROUTE 403

金木観光物産館「マディニー」【五所川原市】

「マディニー」は「斜陽館」向かいにあり、太宰ゆかりのお土産や青森の特産品がいっぱい。太宰が愛した津軽の郷土料理を味わえる食事処もあります。

- 時間/マディニー9:00~18:00 (11月~4月19日は17:00まで) 太宰らうめんと郷土料理「はな」11:00~16:00(L.O.15:30)
- 休/年中無休
- 問/金木観光物産館「マディニー」 ☎0173-54-1155 太宰らうめんと郷土料理「はな」 ☎0173-54-1160
- 交通/津軽鉄道金木駅より徒歩約10分



ROUTE 404

赤い屋根の喫茶店「駅舎」【五所川原市】

津軽鉄道の旧駅舎を修復・改装した喫茶店。太宰治の小説「津軽」にそのままの風情が残っています。また金木の特産品である馬肉で作られた馬肉まんじゅう「馬まん」を販売。太宰の好物・根曲がり竹入りの醤油味と馬肉鍋を具に唐辛子をきかせたみそ味が味わえます。(250円)

- 時間/10:00~17:00(L.O.16:30)
- 休/水曜日
- 問/☎0173-52-3398
- 交通/津軽鉄道芦野公園駅より徒歩すぐ

かなぎ元気村【五所川原市】 ROUTE 405

太宰治の生家・津島家にゆかりのある旧傍島家の古民家で「ものづくり」体験ができます。田舎のぬくもりを体感するメニューが豊富です。また、トレッキングや食の健康プログラムの拠点でもあります。

- 時間/10:00~16:00(4月4日~11月30日)
- 料金/無料(体験・食事別途)
- 休/月~水曜日、12月1日~4月3日
- 問/☎0173-52-2882
- 交通/JR五能線五所川原駅より車約25分(津軽鉄道金木駅より車約15分)

小説「津軽」の像記念館【中泊町】 ROUTE 406

幼年時代の子守り・越野タケとの再会を描いた小説「津軽」。そのクライマックスの舞台、小泊にある記念館です。

- 時間/9:00~16:30 (11月~3月は16:00まで)
- 料金/大人200円、高・大学生100円、小・中学生50円
- 休/10月~3月の毎週月・火曜日(祝日の場合翌日)、12月28日~1月4日
- 問/☎0173-64-3588
- 交通/JR五能線五所川原駅よりバス約1時間40分

太宰ゆかりの地めぐりへ

「太宰ミュージアム」

五所川原市金木地区は、文豪・太宰治が生まれ育った地。太宰ゆかりの場所や景色、美味が数多く残る金木は、街全体が「太宰ミュージアム」です。



津島家の繁栄を物語る 和洋折衷の豪邸へ

青森県内屈指の財産家で衆議院議員だった津島源右衛門の第十子大男として誕生した津島修治こと、後の文豪・太宰治。太宰誕生の2年前の明治40年(1907年)に建築された入母屋造りの太宰の生家は、戦後は旅館として生まれ、平成10年(1998年)から太宰治記念館に。平成16年(2004年)には国の重要文化財にもなり、人々に愛されている。設計は、函館などで洋風建築の研鑽を深め、明治時代に青森県内で洋風建築を数々手がけた名棟梁・堀江佐吉で、和洋折衷の豪華な造りを目にする。

太宰の人生はここから始まった。

太宰治記念館「斜陽館」【五所川原市】 ROUTE 401

今なお多くのファンを惹きつける文豪・太宰治の生家。19室もある部屋、庭園、米蔵などに少年時代の太宰の暮らしぶりがよみがえります。

- 時間/9:00~17:30(4月~9月)、9:00~17:00(10月~3月) ※入館は30分前まで
- 料金/大人500円、高・大学生300円、小・中学生200円 ※共通券あり(津軽三味線会館)
- 休/12月29日 ■問/☎0173-53-2020 ■交通/津軽鉄道金木駅より徒歩約10分

太宰治生誕110年記念特別企画

生誕110年・太宰治像のある芦野公園「地元ガイドと芦野公園で金木歴史散歩」

金木の歴史・太宰治・津軽三味線・青森ひば・津軽森林鉄道などの話をしながら地元ガイドがご案内。1時間の健康散歩です。

- 期間/6~7月 ■時間/10:40~11:40(津軽鉄道芦野公園駅集合・解散) ※3日前まで2名様以上で要事前申込
- 料金/お一人様1,500円(ガイド料・保険料含む)
- 問/太宰治記念館「斜陽館」 ☎0173-53-2020
- まだまだある!
 - ・4月26日~6月30日/太宰治展~生誕110年~
 - ・5月26日/第8回走れメロスマラソン
 - ・6月19日/太宰治生誕祭
 - ・6月22日、23日/太宰治生誕110年記念 太宰文学映画祭 太宰治生誕110年記念フェスティバル
 - ・7月6日/太宰治生誕110年記念講演会
- 問/五所川原市観光物産課 ☎0173-35-2111



芦野公園【五所川原市】 ROUTE 402

太宰が幼少期よく遊んでいた公園。小説「津軽」にも書かれ、太宰文学碑や銅像も建てられていることから、太宰ファンが多く集います。湖畔に広がる桜と松の調和が美しく、桜の名所としても有名です。

- 問/五所川原市観光協会 ☎0173-38-1515
- 交通/津軽鉄道芦野公園駅より徒歩すぐ

太宰治ゆかりの地 かなぎ文学散歩【五所川原市】

太宰が少年時代を描いた自伝的な作品「思ひ出」をもとに、疎開した際に暮らした家「新座敷」や生家で記念館になっている「斜陽館」など、太宰ゆかりの地をガイドが案内します。

- 時間/10:00~(3日前まで要予約) ※スタート時間要相談
- 料金/2時間コース:2,400円、昼食并当付3時間コース:5,000円
- 定員/2~9名(10名以上は要相談)
- 休/8月13日、12月29日~1月3日
- 場所/津軽鉄道金木駅集合
- 問/太宰治記念館「斜陽館」 ☎0173-53-2020



AREA GUIDE

津軽・西海岸エリア

弘前市・黒石市・五所川原市・つがる市・平川市・鯉ヶ沢町・深浦町・西目屋村・藤崎町・大鰐町・由舎館村・板柳町・鶴田町・中泊町



AREA GUIDE

津軽・西海岸エリア

弘前市黒石市五所川原市つがる市平川市
鰯ヶ沢町深浦町西目屋村藤崎町大鰐町
田舎館村板柳町鶴岡町中泊町



弘前公園 (弘前城) [弘前市] ROUTE 409

江戸時代建造の天守が残る弘前公園。春は桜、秋は紅葉の名所として多くの観光客が訪れます。現在、弘前城は100年ぶりとなる石垣工事の真っ最中。曳屋によって移動した天守と岩木山を一緒に見られるチャンスです。

- 期間/9:00~17:00 (入園券の販売は16:30まで)
- 料金/大人310円、小・中学生100円
※有料区域である弘前城(本丸・北の郭)及び弘前城植物園以外は無料
- 休/年中無休(天守は11月24日~3月31日休館)
- 問/弘前市みどりの協会 ☎0172-33-8733
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



津軽藩ねぶた村 [弘前市] ROUTE 412

弘前ねぶたが展示され、祭り太鼓にチャレンジしたり、津軽三味線の生演奏など津軽の文化が体験できます。民・工芸品などお土産もずらり。

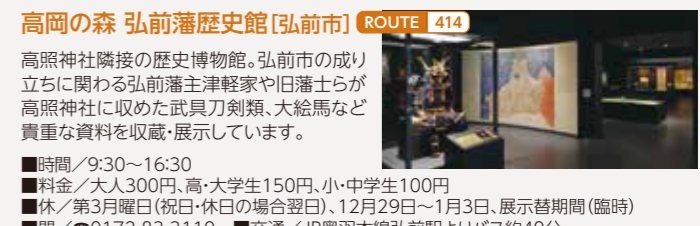
- 期間/9:00~17:00
- 料金/大人550円、中・高校生350円
小学生200円、幼児100円
※体験料は別途(内容により異なる)
- 休/年中無休 ■問/ ☎0172-39-1511 ■交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



洋風・和風建築物のライトアップ [弘前市]

城下町・弘前の街並みが華麗にライトアップ。イルミネーションに飾られた街路に弘前城をはじめとした洋風・和風の建築群が幻想的に浮かびあがります。

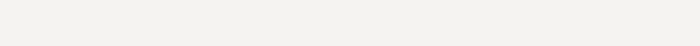
- 期間/通年
- 時間/各施設により異なる(要問合せ) ■問/弘前市観光課 ☎0172-35-1128



弘前市りんご公園 [弘前市] ROUTE 413

岩木山が望め、りんご収穫体験ができる公園。りんごにごだわったグッズ・レストラン、シードル工房もあります。

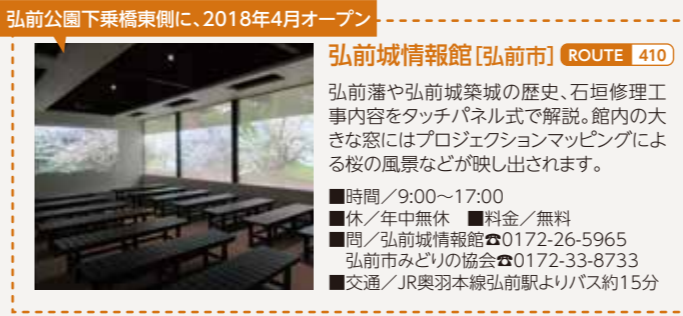
- 期間/9:00~17:00 (りんごの家・旧小山内家住宅)
- 休/年中無休 ■問/ ☎0172-36-7439
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約20分
※ための番号は約40分(12月~3月まで運休)



高岡の森 弘前藩歴史館 [弘前市] ROUTE 414

高照神社隣接の歴史博物館。弘前市の成り立ちに関わる弘前藩主津軽家や旧藩主らが高照神社に収めた武器刀剣類、大絵馬など貴重な資料を収蔵・展示しています。

- 時間/9:30~16:30
- 料金/大人300円、高・大学生150円、小・中学生100円
- 休/第3月曜日(祝日・休日の場合翌日)、12月29日~1月3日、展示替期間(臨時)
- 問/ ☎0172-83-3110 ■交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約40分



弘前公園下乗橋東側に、2018年4月オープン

弘前城情報館 [弘前市] ROUTE 410

弘前藩や弘前城築城の歴史、石垣修理工事内容をタッチパネル式で解説。館内の大きな窓にはプロジェクションマッピングによる桜の風景などが映し出されます。

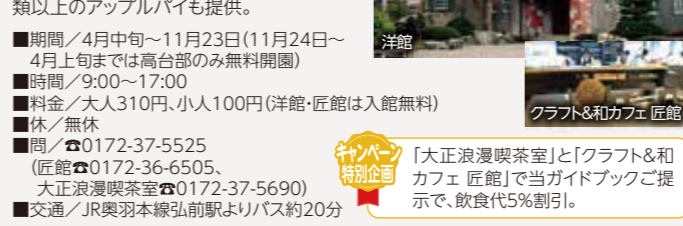
- 時間/9:00~17:00
- 休/年中無休 ■料金/無料
- 問/弘前城情報館 ☎0172-26-5965
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



弘前城菊と紅葉まつり [弘前市] ROUTE 411

弘前城植物園を主会場に、東北有数の豪華絢爛な菊人形、動物等をかたどった菊の造形物を数多く展示。また期間中は特別に夜間のライトアップを実施。古都の紅葉が幽玄に浮かび上がります。

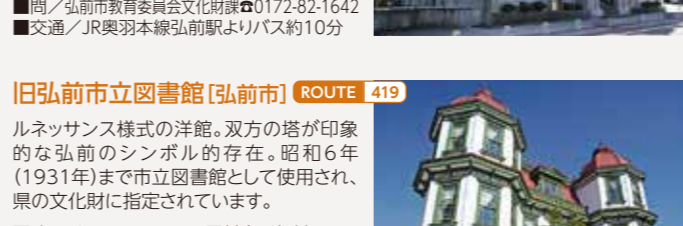
- 期間/10月18日~11月10日
- 時間/9:00~17:00
- 料金/大人310円、小・中学生100円
- 問/弘前市立観光局 ☎0172-37-5501
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



弘前市立博物館 [弘前市] ROUTE 416

津軽地方に関わる歴史・美術工芸資料などの展示を通じて、弘前をより深く学ぶことができます。

- 時間/9:30~16:30
- 料金/大人300円、高・大学生150円、小・中学生100円
- 問/弘前市立博物館 ☎0172-35-0700
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



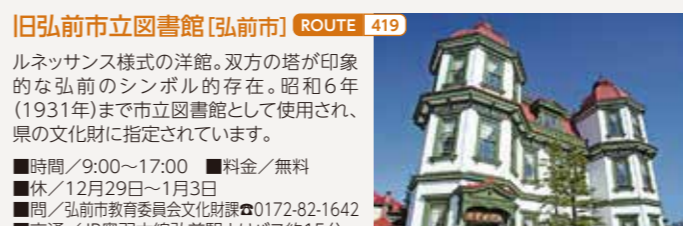
藤田記念庭園 [弘前市] ROUTE 417

弘前市出身の実業家・藤田謙一が、大正10年(1921年)に別邸として造った庭園。平成29年7月には庭園内の登録有形文化財「考古館」1階に「クラフト&カフェ 匠館」がオープン。和風パフェやあんみつを味わえます。また、洋館内の大正浪漫喫茶室では5種類以上のアップルパイも提供。

- 期間/4月中旬~11月23日(11月24日~4月上旬までは高台部のみ無料開園)
- 時間/9:00~17:00
- 料金/大人310円、小人100円(洋館・匠館は入館無料)
- 休/無休
- 問/ ☎0172-37-5525 (匠館 ☎0172-36-6505、大正浪漫喫茶室 ☎0172-37-5690)
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約20分

明治37年(1904年)、青森県初の国立銀行「第五十九銀行」の本店として完成。木造2階建て、ルネッサンス調の洋風建築で、国の重要文化財に指定されています。

- 期間/通年
- 時間/9:30~16:30 ※弘前さくらまつり、弘前ねぶたまつり、弘前城雪燈籠まつり期間中は18:00まで
- 料金/大人200円、小・中学生100円
- 問/弘前市教育委員会文化財課 ☎0172-82-1642
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約10分



旧弘前市立図書館 [弘前市] ROUTE 419

ルネッサンス様式の洋館。双方の塔が印象的な弘前のシンボルの存在。昭和6年(1931年)まで市立図書館として使用され、県の文化財に指定されています。

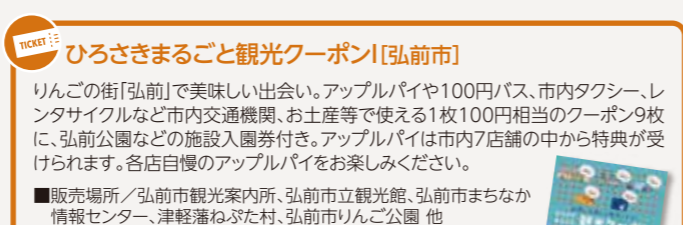
- 時間/9:00~17:00 ■料金/無料
- 休/12月29日~1月3日
- 問/弘前市教育委員会文化財課 ☎0172-82-1642
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



ござん刺し体験 [弘前市] ROUTE 421

麻布に木綿糸を通した針で1針1針模様を描く、津軽伝承の刺し子。体験ではコースターを作ります。

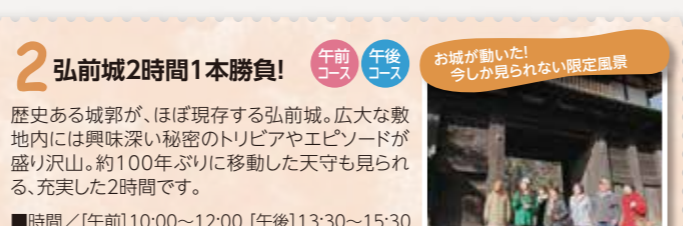
- 受付時間/9:30~14:00
- 期間/通年(要予約)
- 所要時間/約120分(見学時間を含む)
- 料金/1,600円(ねぶた村見学入村券付)
- 休/年中無休
- 問/津軽藩ねぶた村 ☎0172-39-1511
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約15分



ひろさきまるごと観光クーポン [弘前市]

りんごの街「弘前」で美味しい出会い。アップルパイや100円バス、市内タクシー、レンタサイクルなど市内交通機関、お土産等で使える1枚100円相当のクーポン9枚に、弘前公園などの施設入園券付き。アップルパイは市内7店舗の中から特典が受けられます。各店自慢のアップルパイをお楽しみください。

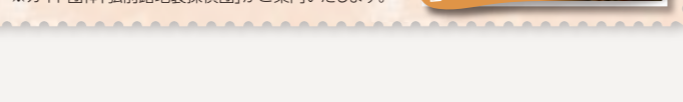
- 販売場所/弘前市観光案内所、弘前市立観光館、弘前市まちなか情報センター、津軽藩ねぶた村、弘前市りんご公園 他
- 期間/5月7日~11月23日
- 有効期間/発行日から30日間 ※ただしご利用は11月23日まで
- 料金/大人・小人共通(お一人様)1,620円
- 問/弘前観光コンベンション協会 ☎0172-35-3131



2 弘前城2時間1本勝負!

歴史ある城郭が、ほぼ現存する弘前城。広大な敷地内には興味深い秘密のトリアやエピソードが盛り沢山。約100年ぶりに移動した天守も見られる、充実した2時間です。

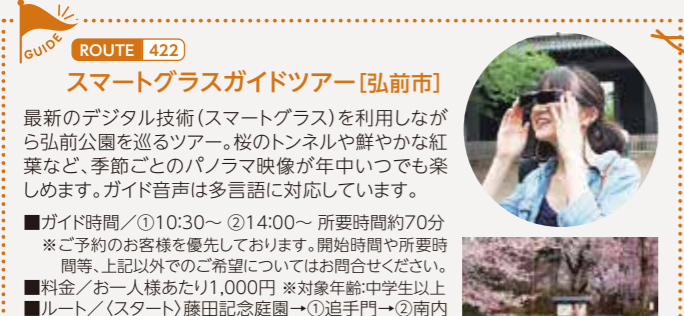
- 時間/[午前]10:00~12:00 [午後]13:30~15:30
- 料金/お一人様1,000円(ガイド料含む)
- 問/弘前観光ボランティアガイドの会 ☎0172-35-3131



3 夕暮れ路地裏散歩

ディープな弘前がここに夕暮れ時の路地裏を探偵団が案内する90分。ガイドブックに載っていない名店、裏話をご紹介します。

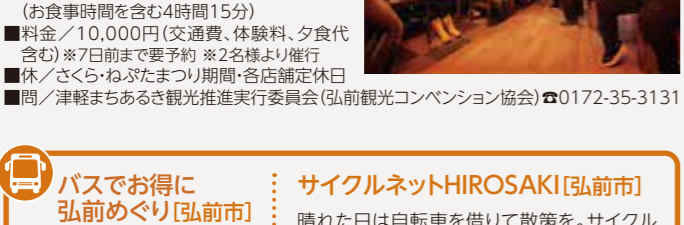
- 時間/17:30~19:00
- 料金/お一人様1,800円(ガイド料含む・記念品付き)
- 問/ガイド団体「弘前路地裏探偵団」 ☎0172-35-3131



スマートグラスガイドツアー [弘前市]

最新のデジタル技術(スマートグラス)を利用してながら弘前公園を巡るツアー。桜のトンネルや鮮やかな紅葉など、季節ごとのパノラマ映像が年中いつでも楽しめます。ガイド音声は多言語に対応しています。

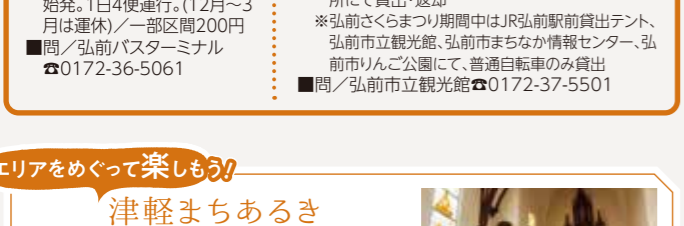
- ガイド時間/①10:30~②14:00~ 所要時間約70分
- 料金/お一人様あたり1,000円 ※対象年齢:中学生以上
- ルート/(スタート)藤田記念庭園→①追手門→②南内門→③下乗橋→④本丸弘前城天守→⑤本丸展望所→(ゴール)武徳殿
- 問/藤田記念庭園事務所 ☎0172-37-5525
- 交通/ JR奥羽本線弘前駅よりバス約20分



津軽三味線三味 [弘前市]

津軽三味線の演奏体験の後、プロの津軽三味線ライブと郷土料理を楽しむタクシーツアーです。

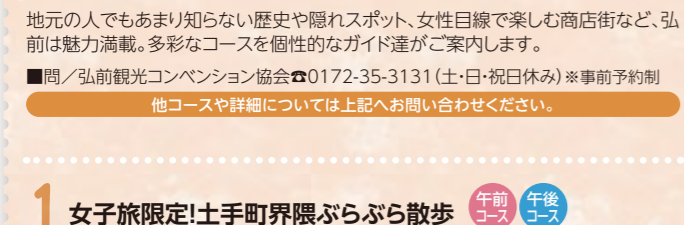
- 期間/4月~11月
- 時間/15:45~20:00 (お食事時間を含む4時間15分)
- 料金/10,000円(交通費、体験料、夕食代含む) ※7日前まで要予約 ※2名様より催行
- 休/さくら・ねぶたまつり期間・各店舗定休日
- 問/津軽まちあるき観光推進実行委員会(弘前観光コンベンション協会) ☎0172-35-3131



バスでお得に弘前めぐり [弘前市]

津軽藩ねぶた村(弘前公園・弘前城)と弘前駅・りんご公園が乗り換えなしでスイスイ回れます。

- 時間/10:00~18:00 (冬期は17:00まで)
- 土手町循環バス/10:00
- バスターミナル始発。以後10分間隔で運行。
- 料金/大人100円・小学生50円 ※1日乗車券(大人500円)も販売
- ための番号/9:15弘前駅前始発。1日4便運行。(12月~3月は運休/一部区間200円)
- 問/弘前バスターミナル ☎0172-36-5061



サイクルネットHIROSAKI [弘前市]

晴れた日は自転車を借りて散策を。サイクルステーションは市内5か所にあり、貸出・返却はいずれの場所でもOKです。

- 期間/5月7日~11月末(予定)
- 貸出時間/9:00~17:00(最終受付16:00)
- 返却時間/17:00(貸出時間は場所により異なる)
- 料金/普通自転車1回500円、電動自転車1回1,000円
- 貸出場所/弘前市立観光館(下白銀町)、弘前市観光案内所(JR弘前駅1F)、津軽藩ねぶた村(亀甲町)、弘前市まちなか情報センター(土手町)、弘前市りんご公園(清水富田)
- 電動自転車は弘前市立観光館・弘前市観光案内所にて貸出・返却
- 弘前さくらまつり期間中はJR弘前駅前貸出テント、弘前市立観光館、弘前市まちなか情報センター、弘前市りんご公園にて、普通自転車のみ貸出
- 問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501

エリアをめぐって楽しむ 津軽まちあるき

津軽・弘前エリア(弘前市・黒石市・平川市・大鰐町・藤崎町・西目屋村・田舎館村)の歴史と伝統・文化・自然などおススメ観光スポットを巡るのにオススメ!地元ガイドと一緒に巡れるコースなど多数あります。

- 問/津軽まちあるき観光推進実行委員会(弘前観光コンベンション協会内) ☎0172-35-3131
- ※コースの詳細や他のコースについてはホームページをご覧ください。



弘前フレンチ[弘前市]

城下町・弘前はフランス料理のお店が多いことで有名です。新鮮な地元食材をたっぷり使った、旬のフレンチが存分に楽しめます。
※コース料理の一例です。内容は季節等により異なります。
■問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅



弘前の郷土が培った味[弘前市]

地元で昔から愛される、津軽の海の恵みを活かしたソルフードの数々。「貝焼き味噌」や「いがめんち」など食欲をそそられる美味が盛り沢山です。
■問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅



岩木山の嶽さきみ[弘前市]

嶽さきみとは、岩木山嶽地区で収穫されるトウモロコシ(方言で「きみ」)のこと。岩木山南麓の寒暖差が生み出す味は絶品。直売所では生はもちろん、茹でたて、焼きたての嶽さきみを販売しています。
■収穫時期/8月中旬～10月上旬
■問/岩木山観光協会 ☎0172-83-3000
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅



りんごの街のアップルパイ[弘前市]

市内の和洋菓子店や喫茶店、パン屋など約50店舗でこだわりのアップルパイを召し上げられ。りんご生産量日本一の味わいは格別です。
■問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅



城下町に伝わる和菓子と和食[弘前市]

当時の藩主は菓子職人を京都に送り菓子のつくり方を習得させた。中には約390年前に創業した老舗もあるほど。城下町ならではの趣きを感じられます。
■問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅

重要伝統的建造物群保存地区中町こみせ通り[黒石市] ROUTE 426

「日本の道百選」に選ばれている商業で発展した通り。旅籠や呉服屋、商家が軒を連ね、人を日差しや吹雪、積雪から守る木造アーケード状の通路「こみせ」が造られました。旧家や造り酒屋などの伝統的建造物が「こみせ」と共に受け継がれています。
■問/黒石観光協会 ☎0172-52-3488
■交通/弘南鉄道弘南線黒石駅より徒歩約10分

高橋家住宅[黒石市] ROUTE 427

築270年ほどの建物は国指定重要文化財。建物内の喫茶店では、井戸水で淹れたコーヒーや手作りのあんみつが人気。晴れた日には庭園でお茶も味わえます。
■時間/9:00～16:00 ■料金/見学無料
■休/不定休 ■問/☎0172-52-5374
■交通/弘南鉄道弘南線黒石駅より徒歩約10分



田んぼアート[田舎館村] ROUTE 425

田んぼをキャンパスに見立て色の異なる種を絵具代わりして巨大な絵を描く。展望デッキから眺めるスケール感と技術の素晴らしさが話題になって行列ができるほど大人気。2018年のテーマは第1田んぼアートに「ローマの休日」、第2田んぼアートに「手塚治虫キャラクター」を実施しました。
【第1田んぼアート (田舎館村役場東側水田/田舎館村展望台)】
■料金/4階展望デッキ大人300円、小学生100円 ※6階天守閣からも見学する場合、さらに大人200円、小学生100円
■休/9月29日(稲刈り体験ツアーのため)
■交通/弘南鉄道弘南線田舎館駅より車約5分
【第2田んぼアート (道の駅いなかだて/弥生の里展望所)】
■料金/大人300円、小学生100円
■休/期間中無休
■交通/弘南鉄道弘南線田んぼアート駅より徒歩すぐ
※第1・第2の両会場を結ぶ無料シャトルワゴン車あり
■期間/5月27日～10月6日 (第2田んぼアートは6月15日～)
■時間/9:00～17:00(入場は16:30まで)
■問/田舎館村企画観光課 ☎0172-58-2111

いながだでの田舎あるぎ[田舎館村]

田んぼアートのまわりを歩きながら裏話などが聞ける田んぼアートコースや、城址や文化財を散策する歴史コースなどを観光ガイドがご案内します。
■料金/有料(要問合せ) ■問/田舎館村企画観光課 ☎0172-58-2111

鳴海醸造店 酒蔵見学[黒石市] ROUTE 428

文化3年(1806年)創業、約210年の歴史をもつ、鳴海醸造店。市の有形文化財に指定されている家屋など、伝統的な酒蔵を解説付きで見学できます。
■期間/4月下旬～10月 ※酒造時期は見学不可 ■時間/9:00～16:00
■料金/見学無料 ■休/月2日曜日(不定休) ■予約/3日前まで
■交通/弘南鉄道弘南線黒石駅より徒歩約10分 ■問/鳴海醸造店 ☎0172-52-3321

黒石まち歩きツアー

城下町・黒石の風情を感じさせる歴史・文化・なりわいなどを、ガイドがうんちくを交えながら案内します。
【コースの一例】中町浜街道商家巡り(ちよい食べブルメ付)
【ツアー内容】松葉堂→第三屯所→寺山餅店→高橋家→鳴海醸造店→小見泉
■開催日/通年 ■時間/10:00～12:00 ■集合場所/松の湯交流館
■料金/大人2,000円(中学生以上)、小人1,500円(小学生以下) ※ちよい食べ、おみやげ付き
■予約/希望日の10日前まで ■定員/20名程度
■主催/横町十文字まちそで会 ■問/松の湯交流館 ☎0172-55-6782

津軽伝承工芸館・津軽こけし館[黒石市] ROUTE 433

「津軽伝承工芸館」では、津軽塗など津軽の伝統工芸の実演が見学できます。隣接する「津軽こけし館」では、こけし作りの実演や全国のこけしの鑑賞、こけし絵付け体験が楽しめます。津軽系こけしをぜひお土産にどうぞ。
■時間/9:00～17:00 ※足湯は11:00～14:30
■料金/伝承館:入館無料、こけし館:大人320円、高校生270円、小・中学生160円
■休/12月～3月の月曜日、年末年始 ■問/津軽伝承工芸館 ☎0172-59-5300
■交通/弘南鉄道弘南線黒石駅より車約25分

黒石の紅葉をたのしむ

紅葉や滝、渓流の絶景スポット。紅葉期間中は夜間ライトアップも。「不動の滝」前には紅葉床が設けられ、静かに流れる川を眺めながらゆっくりくつろげます。「小嵐山弁当」も人気です。
【中野もみじ山 紅葉ライトアップ】
■期間/10月12日～11月4日(予定) ■時間/ライトアップは夕暮れ～21:00
■問/黒石市観光課 ☎0172-52-2111
■交通/弘南鉄道弘南線黒石駅よりバス約30分
【小嵐山弁当(予定)】
■期間/10月12日～11月4日(予定) ■時間/12:00～13:00(予定)
■料金/2,000円 ■問/黒石観光協会 ☎0172-52-3488

津軽伝統金多豆蔵人形芝居

津軽伝統「金多豆蔵人形芝居」は「金多と豆蔵」の津軽弁の掛け合いや民謡に合わせた人形の手踊りなど演目さまざま。笑いの絶えない舞台です。
■場所/津軽鉄道津軽中里駅構内
■期間/7月6日、8月3日、9月7日、毎月第1土曜日(10月5日を除く)
■時間/午前の部10:30～、午後の部13:00～ ■料金/大人1,000円、小人500円
■問/金多豆蔵人形一座:主宰者・木村巖 ☎0173-58-3573

権現崎

日本海に突き出た巨大な岩山がある岬。頂上からは海の大パノラマが楽しめるほか、北海道、岩木山、十三湖が一望できます。
■問/中泊町水産商工観光課 ☎0173-57-2111
■交通/津軽鉄道津軽中里駅より車約40分

大鰐町地域交流センター

お食事処、産直・売店、多目的ホールなどを備えた施設。大鰐温泉名物「大鰐温泉もやし」の料理も味わえます。
■時間・料金/施設により異なる
■休/第3木曜日 ■問/☎0172-49-1126
■交通/JR奥羽本線大鰐温泉駅より徒歩約2分
【お食事処花りんご(鰯come内)】
■時間/11:00～15:00(L.O.14:30) ※大鰐温泉もやしは、入荷状況によりご提供できない場合あり。
■休/水曜日

さっパス

弘南鉄道大鰐線の往復乗車券に、大鰐町地域交流センター「鰯come」の入浴券とお買い物券200円分が付いたお得な切符です。
■料金/1,000円
■販売箇所/大鰐駅・中央弘前駅・大鰐線車内・弘前駅(弘前線)・鰯come
■問/弘南鉄道 ☎0172-44-3136

マタギ飯[弘前市] ROUTE 423

山に感謝し、山を知り尽くしたマタギ(狩人)の野趣あふれる山飯を現代風にアレンジ。キジ肉、舞茸、山菜など山の恵みがたっぷり堪能できます。
■時間/11:00～16:00(L.O.15:00)
■料金/マタギ飯定食(1人前)1,620円
■休/不定休(要問合せ)
■場所/マタギ亭(山のホテル内)
■問/嶽温泉山のホテル ☎0172-83-2329
■交通/JR奥羽本線弘前駅よりバス約50分

弘前カクテル[弘前市]

クオリティの高いカクテルバーが多く点在する弘前。四季折々の風情をテーマにオリジナルカクテルを、市内の各店で愉しめます。
■問/弘前市立観光館 ☎0172-37-5501
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅

鶴田町名物「ジャンボメニュー」

大きさが通常の3～5倍はあるビックリシュークリーム(1,200円)やビックリ焼きそばパン(400円)など、種類も豊富で大人気です。その大きさにきっと驚くはずですよ。
■時間/10:00～17:00(1月2日～3月15日)、10:00～18:00(3月16日～12月31日)
■料金/商品により異なる ■休/1月1日
■問/道の駅つたる ☎0173-22-5656 ■交通/JR五能線鶴田駅より徒歩約5分

大鰐温泉もやしラーメン[大鰐町]

温泉熱を利用して育てられた、シャキッとした歯ごたえがクセになる「大鰐温泉もやし」入りラーメン。何味のスープでも邪魔をせず存在感を残していく大鰐温泉もやしは、このラーメンに欠かせません。※大鰐温泉もよしの入荷状況により、ご提供できない場合があります。
■問/大鰐町企画観光課 ☎0172-48-2111
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線大鰐温泉駅

藩士の珈琲[弘前市]

江戸時代、北方警備として北海道へ赴いた弘前藩士達が浮腫病の予防に飲んだ当時のコーヒーを再現。市内の喫茶店で味わうことができます。
■問/弘前は珈琲の街で委員会事務局(成田専蔵珈琲店内) ☎0172-28-2088
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR奥羽本線弘前駅

白神海彦山彦料理[深浦町]

白神の山海の旬の恵みを地元の調理でいただけるのが海彦山彦料理。深浦町内のお店の「緑ののぼり」が自印になります。
■問/深浦町観光課 ☎0173-74-4412
■交通/店舗により異なる(最寄駅)JR五能線十二湖駅・深浦駅 他

黒石やきそば

モチモチの太い平麺に甘辛ソースが絡む「黒石やきそば」。そばつゆやラーメンスープがソースとマッチする「黒石つゆやきそば」は独特の味で人気です。
※ソースは店舗によって異なります。
■問/黒石つゆやきそばHAPPY麺恋(めぐい)ジャー ☎0172-52-4316
■交通/店舗により異なる(最寄駅)弘南鉄道弘南線黒石駅 他

自然薯ラーメン[平川市]

滋養たっぷりの自然薯(山芋)を練りこんだ麺はもちもちした食感。あっさりしたスープが麺に絡みます。
■場所/「道の駅」いかりがせき 麺どころ杉作ほか、碓ヶ関地区内の各食事処
■時間/10:30～15:00(麺どころ杉作)
■休/水曜日、12月31日、1月1日(麺どころ杉作)
■問/「道の駅」いかりがせき ☎0172-49-5020
■交通/JR奥羽本線碓ヶ関駅より徒歩約2分(道の駅いかりがせき)



千畳敷海岸[深浦町] **ROUTE 447**

海岸に広がる平らな岩床。津軽の殿様が千枚の畳を敷いて宴会をしたことに由来します。五能線リゾートしらかみ号も停車(2・3・4・5号のみ)するので、日本海に沈む夕陽を見ながら海岸散策ができます。

■問/深浦町観光課 ☎0173-74-4412 ■交通/JR五能線千畳敷駅より徒歩すぐ



北前船絵馬

春光山円覚寺[深浦町] **ROUTE 444**

函館の北前船の豪商・高田屋嘉兵衛の奉納品や、北前船絵馬や国内で唯一の北国船絵馬などを展示。北前給水人が海上安全のため参拝した折衝寺。平安時代、坂上田村麻呂創建と伝えられています。

■時間/8:00~17:00 ■料金/大人400円、高校生250円、小・中学生100円
 ■問/☎0173-74-2029 ■交通/JR五能線深浦駅より徒歩約20分



ROUTE 436
WANOファイナリー[鶴田町]

鶴田町が生産量日本一を誇るぶどう「スチューベン」を使ったワインを製造。ガラス越しに醸造施設が並んでいて作業風景が見られることもあります。

■時間/10:00~17:00 ※土・日・祝日のみ営業
 ■問/☎0173-23-5703
 ■交通/JR五能線陸奥鶴田駅より徒歩約10分



鶴の舞橋(富士見湖パーク内)
[鶴田町] ROUTE 435

全長約300mあり、木造の三連太鼓橋では日本一の長さ。青森県産ヒバの木材を使用しています。鶴が翼を広げたような美しい景観を見せてくれます。

■問/鶴田町企画観光課 ☎0173-22-2111
 ■交通/JR五能線陸奥鶴田駅より徒歩約10分

タクシーのご案内
特別企画

陸奥鶴田駅と富士見湖パーク間の往復、富士見湖パークから道の駅つるた、道の駅つるたから陸奥鶴田駅間を通常料金の約半額でご利用可。
 ※陸奥鶴田駅~富士見湖パーク間の片道料金の目安:通常約2,000円が約1,000円 ※能率タクシー-鶴田タクシー限定

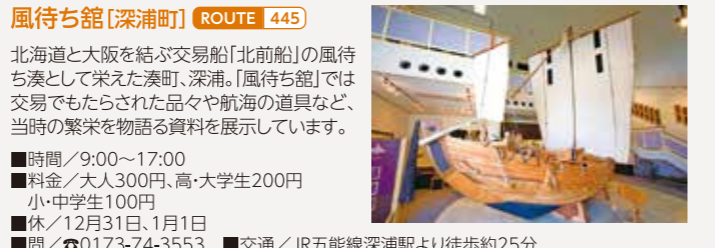
■期間/6月20日~7月2日、9月2日~11日
 ■問/能率タクシー ☎0120-032-002
 鶴田タクシー ☎0120-403-515



道の駅ふかうら「かそせいか焼き村」[深浦町] **ROUTE 448**

近海の鮮魚や地元の野菜、いか焼き、特産品が並ぶ道の駅。食事処では海鮮丼や自然塩入りのソフト「ソルティエ」が人気です。

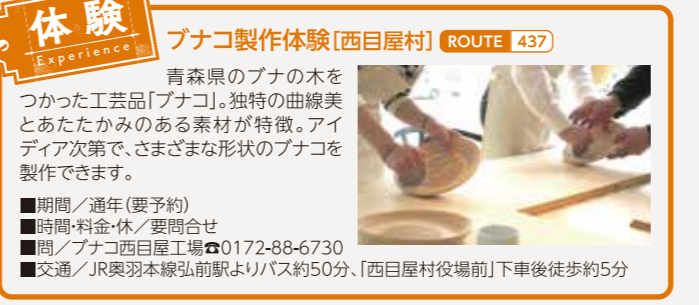
■時間/9:00~18:00 ■休/年末年始(要問合せ)
 ■問/☎0173-76-3660 ■交通/JR五能線風合瀬駅より徒歩約5分



風待ち館[深浦町] **ROUTE 445**

北海道と大阪を結ぶ交易船「北前船」の風待ち室として栄えた湊町、深浦。「風待ち館」では交易でもたらされた品々や航海の道具など、当時の繁栄を物語る資料を展示しています。

■時間/9:00~17:00
 ■料金/大人300円、高・大学生200円、小・中学生100円
 ■休/12月31日、1月1日
 ■問/☎0173-74-3553 ■交通/JR五能線深浦駅より徒歩約25分



体験
Experience **ブナコ製作体験**[西目屋村] **ROUTE 437**

青森県のブナの木をつかった工芸品「ブナコ」。独特の曲線美とあたたかみのある素材が特徴。アイデア次第で、さまざまな形状のブナコを製作できます。

■期間/通年(要予約)
 ■時間/料金/休/要問合せ
 ■問/ブナコ西目屋工場 ☎0172-88-6730
 ■交通/JR奥羽本線弘前駅よりバス約50分、「西目屋村役場前」下車後徒歩約5分



高山稻荷神社[つがる市] **ROUTE 438**

五穀豊穡・海上安全・商売繁盛の神様としてご利益があるといわれる神社。真っ赤な鳥居がずらりと並び本鳥居が神苑に映え、とてもインパクトがあり必見です。

■時間/料金/参拝自由 ■問/☎0173-56-2015
 ■交通/JR五能線木造駅より徒歩約35分



光信公の館[鰺ヶ沢町] **ROUTE 449**

津軽藩の始祖と讃えられる武将、大浦光信公の居城・榊里城跡。城跡発掘や津軽藩関連の資料を展示しています。

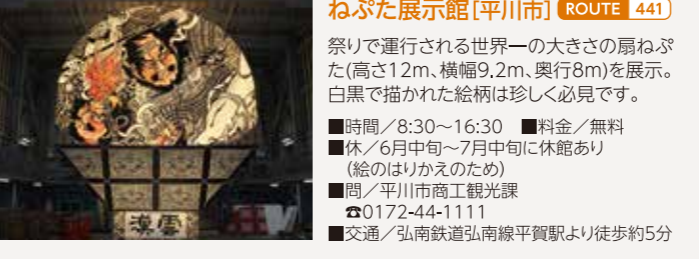
■期間/4月26日~10月27日の金・土・日曜日
 ※ただし、4月26日~5月6日は無休
 ■時間/9:00~17:00(4月26日~8月末) 9:00~16:30(9月~10月)
 ■料金/大人300円、高校生220円、小・中学生150円
 ■休/月曜日~木曜日 ■問/☎0173-79-2535 ■交通/JR五能線鰺ヶ沢駅より徒歩約15分



太宰の宿ふかうら文学館[深浦町] **ROUTE 446**

かつて太宰治が宿泊し、小説「津軽」にも登場する「秋田屋旅館」を改装。様々な文学資料を展示しています。

■時間/8:30~17:00
 (2階展示室は9:00~16:00)
 ■料金/大人300円、高・大学生200円、小・中学生100円
 ■休/4月~10月無休、11月~3月の毎週月曜日(祝日の場合翌日)、12月29日~1月3日
 ■問/☎0173-84-1070 ■交通/JR五能線深浦駅より徒歩約15分



ねぶた展示館[平川市] **ROUTE 441**

祭りで運行される世界一の大きさの扇ねぶた(高さ12m、横幅9.2m、奥行8m)を展示。白黒で描かれた絵柄は珍しく必見です。

■時間/8:30~16:30 ■料金/無料
 ■休/6月中旬~7月中旬に休館あり(絵のほりかえのため)
 ■問/平川市商工観光課 ☎0172-44-1111
 ■交通/弘南鉄道弘南線平賀駅より徒歩約5分



海の駅わんど・鰺ヶ沢相撲館
[鰺ヶ沢町] ROUTE 450

新鮮な海産物や農産物など鰺ヶ沢の美味やグッズがずらり。2階の「鰺ヶ沢相撲館」には土俵や郷土力士の資料などが展示されています。

■時間
 海の駅わんど 9:00~18:00(4月~11月)、9:00~17:00(12月~3月)
 鰺ヶ沢相撲館 9:00~17:00(4月~11月)、9:00~16:00(12月~3月)
 ■料金/入館無料 ■休/1月1日~3日(その他臨時休業あり)
 ■問/☎0173-72-6661 ■交通/JR五能線鰺ヶ沢駅より徒歩約15分

キャンパ 特別企画
 おみやげ店「シーポップ」で商品をお買い上げの方先着120名様に、ミネラルウォーター「白神山地の水」500mlを1本プレゼント。

イカのカーテン[鰺ヶ沢町] **ROUTE 451**

まるでカーテンのようにイカの生干しが並び「焼きイカ通り」。ずらりと並んだ焼きイカから漂う香ばしい匂いに食欲がそそられます。

■期間/通年 ■場所/国道101号線沿い
 ■問/鰺ヶ沢町観光協会 ☎0173-72-5004
 ■交通/JR五能線鰺ヶ沢駅より徒歩約10分



ふじさき食彩テラス[藤崎町] **ROUTE 442**

新鮮野菜やおみやげ品の販売のほか、ピュッフェ・カフェも楽しめる観光施設としてリニューアル。食べ放題のピュッフェでは、地元農産物など旬の食材で健康志向のメニューを提供しています。

■時間/9:00~18:00 (レストランは11:00~14:30、カフェは9:00~17:00)
 ■料金/入館無料
 ■休/夏季および年末年始(要問合せ) ※レストラン水曜定休
 ■問/☎0172-26-6901
 ■交通/JR奥羽本線北常盤駅より徒歩約20分

キャンパ 特別企画
 当ガイドブックご提示で、各日先着10名様にソフトクリーム各種50円引。

板柳町ふるさとセンター[板柳町] **ROUTE 443**

りんごのことを学び、楽しめる施設。りんご尽くしのデザートが味わえるほか、木の皮で編み上げる「林寿(りんじゅ)」、葉や枝をじっくり煮こんで自然の色をそのまま染め上げる「りんご草木染」、果実のもぎ取り(9月~11月中旬)などの体験メニューもあります。

■時間/9:00~17:45
 (体験学習の時間は要問合せ)
 ■料金/体験料110円~3,000円
 (各種体験により異なる)
 ■休/12月29日~1月3日(各工房定休日あり)
 ■問/☎0172-72-1500
 ■交通/JR五能線板柳駅より徒歩約15分



キャンパ 特別企画
 当ガイドブックご提示で、施設内工芸館売店にてりんごジュース1杯サービス。

清藤氏書院庭園[平川市] **ROUTE 439**

津軽地方で広く見られる流派「大石武学流」の源流とされている庭園。江戸時代初期、京都の公家・花山院忠長卿によって作庭され、書院とともに国名勝に指定されています。

■期間/4月~11月
 ■時間/9:00~17:00 ※事前に要申込
 ■料金/大人300円、高校生200円、小・中学生100円 ■休/不定休(要問合せ)
 ■問/☎0172-57-2127 ■交通/弘南鉄道弘南線津軽尾上駅より徒歩約10分

せいびえん
盛美園[平川市] **ROUTE 440**

明治35年(1902年)より9年の歳月を費やして完成した庭園で、国指定の名勝。庭園を鑑賞するために建てられた「盛美館」は、1階は純和風、2階は洋館になっている珍しい建物です。

■時間/9:00~17:00(4月中旬~9月末) 9:00~16:30(10月~11月中旬) 10:00~15:00(11月中旬~4月中旬)
 ■料金/大人430円、中・高校生270円、小学生160円
 ■休/12月29日~1月3日
 ■問/☎0172-57-2020
 ※11月~3月は隣接の四季の蔵もてなしロマン館 ☎0172-43-5610
 ■交通/弘南鉄道弘南線津軽尾上駅より徒歩約10分

「ひらかわ案内人」と愉しむ庭園
[平川市]

古くから造園が盛んな平川市尾上地域。庭園を取り囲む生垣を眺めながら、盛美園や猿賀神社、猿賀公園を観光ガイドがご案内します。

■問/平川市観光協会 ☎0172-40-2231